

3 モエン標準施工法

＜鉄骨造納まり詳細図＞

3－ 1	鉄骨下地 横張り 通気金具施工
3－ 2	鉄骨下地 縦張り 通気金具施工
3－ 3	鉄骨下地 横張り 釘打ち施工(木胴縁下地)
3－ 4	鉄骨下地 縦張り 釘打ち施工(木胴縁下地)

3-1 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

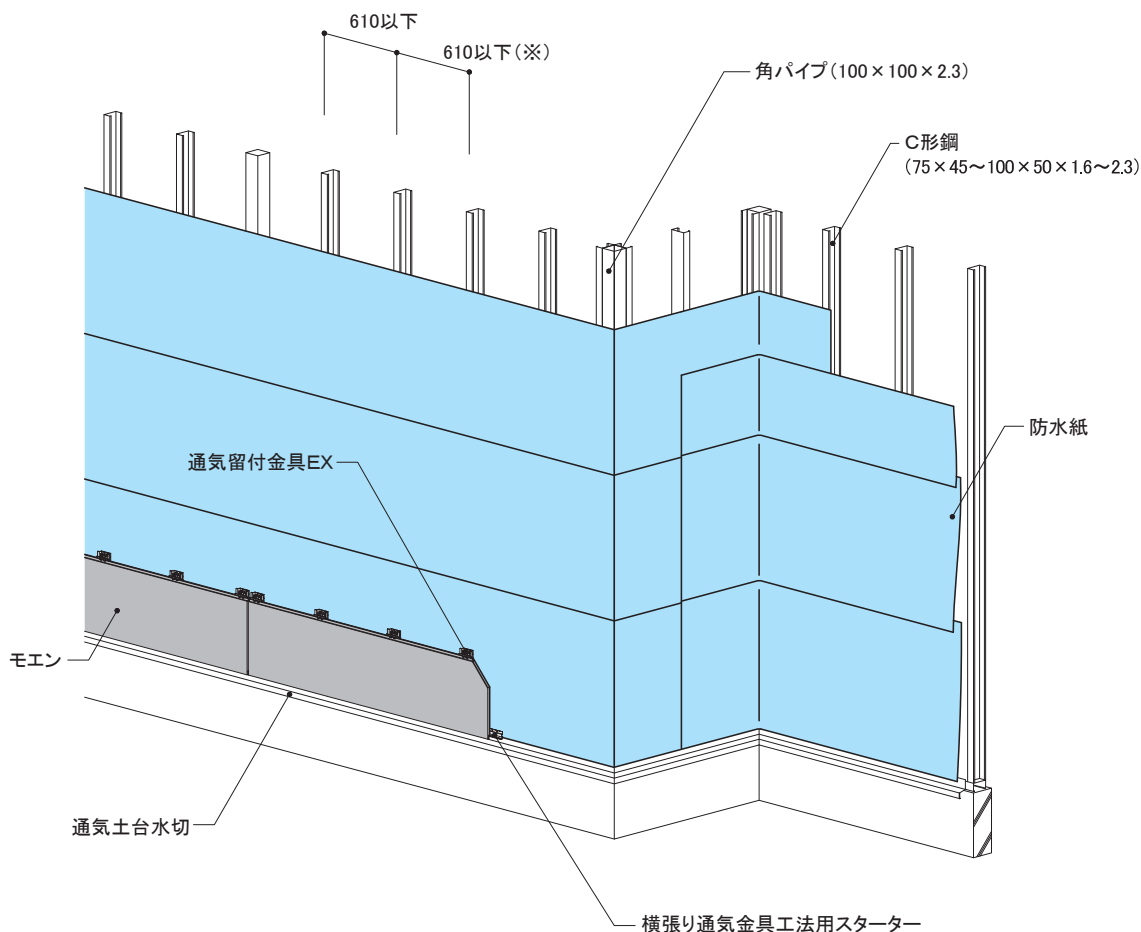
横張り

通気金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
 - C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で縦に組みます。(※)
 - C形鋼を柱・梁などに直接溶接することは避けます。受けアングル(ねこ)を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めとします。
 - 出隅部、入隅部、左右接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、金具が留め付けられるようにします。
- ※1時間準耐火構造(QF060BE-9225)が必要な場合は@606mm以下となります。また、防火構造および準耐火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。



16～21mm厚品 1.5尺×6尺

(EX)

下 地

鉄骨下地

留付方法

通気金具

張り方向

横

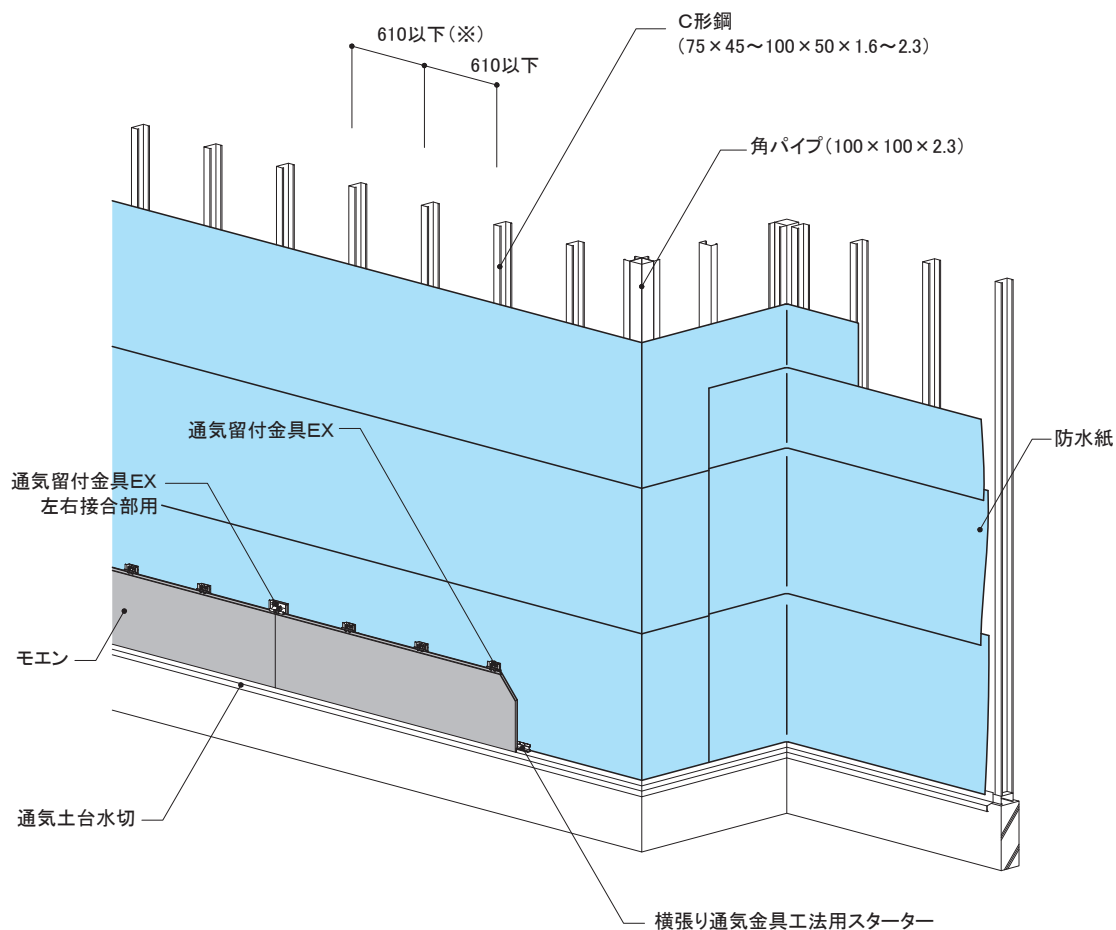
木胴縁組

なし

3) 基本構成図・下地組図

1.5尺×6尺

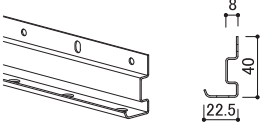
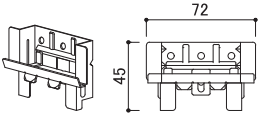
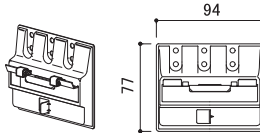
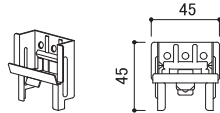
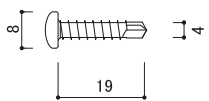
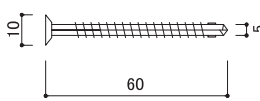
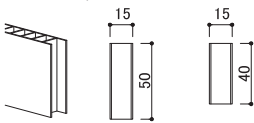
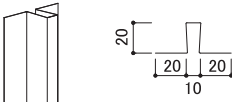
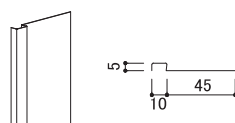
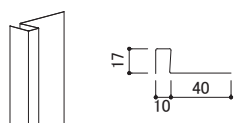
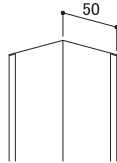
- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
 - C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で縦に組みます。(※)
 - C形鋼を柱・梁などに直接溶接することは避けます。受けアングル(ねこ)を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めとします。
 - 出隅部、入隅部、左右接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、金具が留め付けられるようにします。
- ※1時間準耐火構造(QF060BE-9225)が必要な場合は@606mm以下となります。また、防火構造および準耐火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。

モエン
標準施工法納まり詳細図
木造納まり詳細図
鉄骨造外張り
断熱工法

アウティ

軒天

参考資料

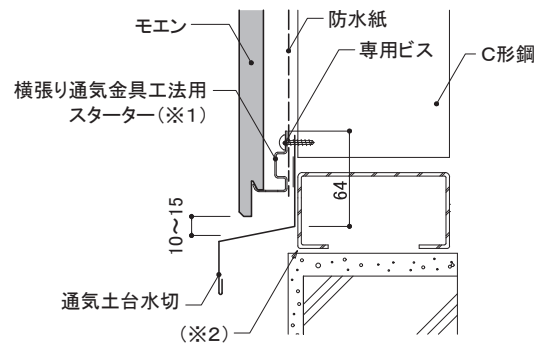
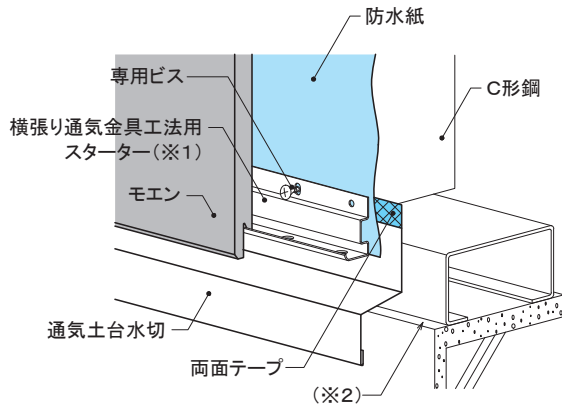
16～21mm厚品		1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
EX			鉄骨下地	通気金具	横	なし
4) 主要部材一覧表			1. 5尺×6尺			
■スターター  横張り通気金具工法用スターターA 【品番:FA850A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:606mm以下	■一般部金具  横張り用通気留付金具EX (エクセラード用) 【品番:JE825】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける	■左右接合部金具  横張り用通気留付金具EX (エクセラード用) 【品番:JEJ835】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビス2本で留め付ける	■出隅部金具  横張り用通気留付金具EX出隅用 (エクセラード用) 【品番:JE825C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける			
■専用ビス (スターター・金具留付用)  ステンレステクスネジ 【品番:JK1140】 材質:ステンレス サイズ:φ4mm×19mm	■専用ビス (モエン表面留め用)  ステンレスリーマテクスネジ 【品番:JK1250】 材質:ステンレス サイズ:φ5mm×60mm	■スペーサー  スペーサー15 【品番:FS1015】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー15(ピースタイプ) 【品番:FSP1015】 サイズ:40×40×15mm 材質:ポリプロピレン	■ハットジョイナー  ハットジョイナー20 【品番:FH1020R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色			
■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー05 【品番:FHK1105R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー17 【品番:FHK1117R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色	■入隅50  入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm				

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

16～21mm厚品 (EX) (S)	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	横	なし

5) 土台部

- 通気土台水切は、C形鋼に610mm以下の間隔でビスを用いて水平に取り付けます。その際は、横張り通気金具工法用スターターの留付位置を避けて留めます。
- 横張り通気金具工法用スターターは、専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)を用いてC形鋼に606mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 通気土台水切とモエン下端の取り合いは、10～15mm程度隙間を設けます。

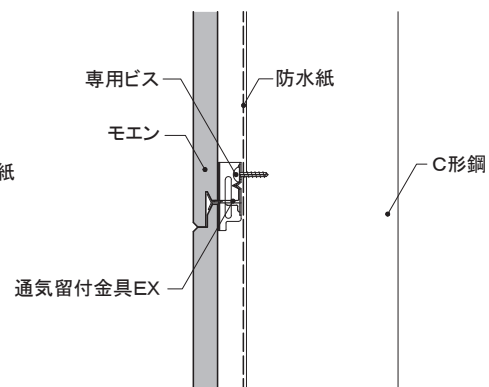
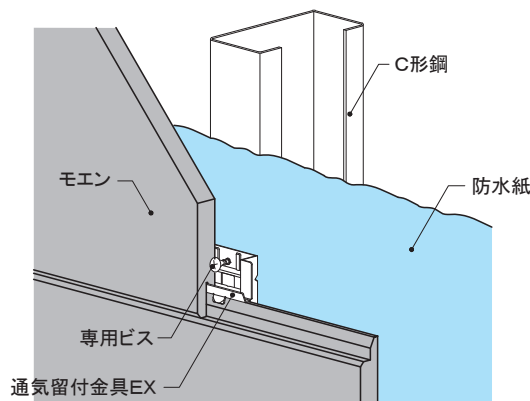


※1 土台部のC形鋼と縦下地のC形鋼の隙間に留意し、土台水切およびスターターの位置を調整してください。

※2 吹上げによる雨水浸入を防ぐ防水処理が確実に行われていることを確認してください。

6) 上下接合部

- 実に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。



16~21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

EX S

下地
鉄骨下地

留付方法
通気金具

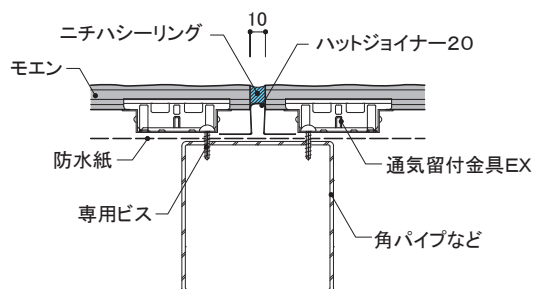
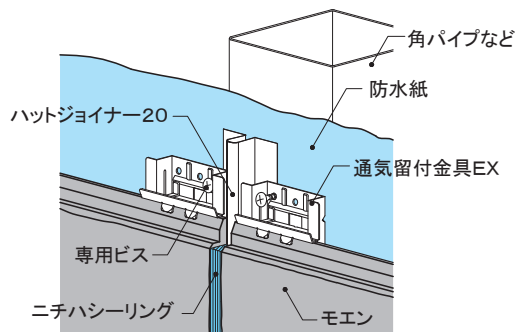
張り方向
横

木胴縁組
なし

7) 左右接合部

① 1.5尺×10尺

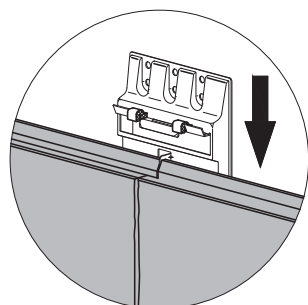
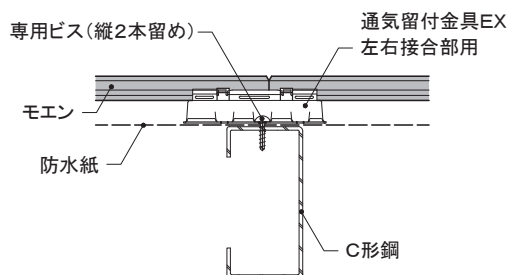
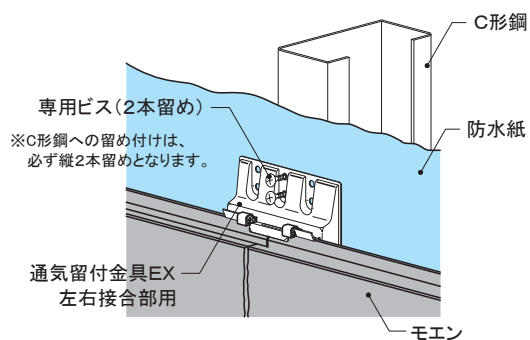
- 左右接合部には、ハットジョイナー20を取り付けます。
- 実に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレススネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



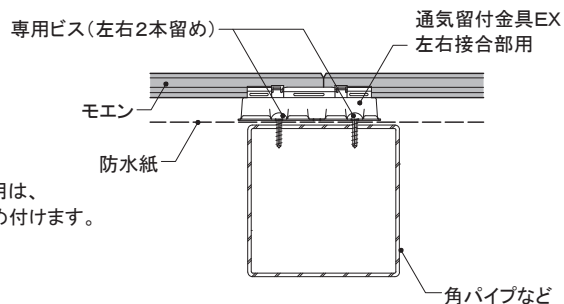
7) 左右接合部

② 1.5尺×6尺

- 四方合いじゃくり品の左右接合部には、通気留付金具EX左右接合部用を用いて、合いじゃくり部を確実に納め、専用ビス(ステンレススネジφ4mm×19mm)2本で留め付けます。



※通気留付金具EX左右接合部用は、
実の間に上から差し込んで留め付けます。



16~21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

EX

S

下 地
鉄骨下地

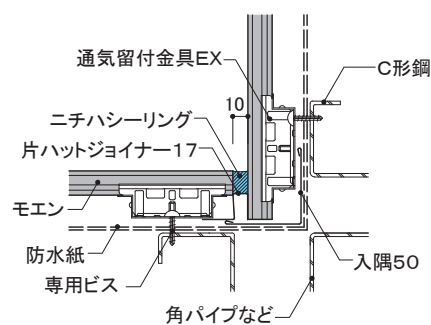
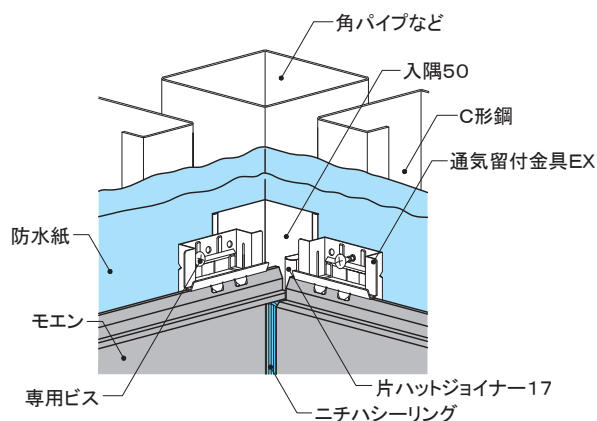
留付方法
通気金具

張り方向
横

木胴縁組
なし

8) 入隅部

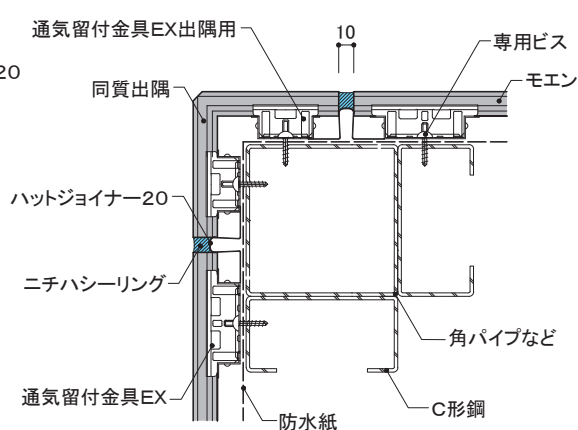
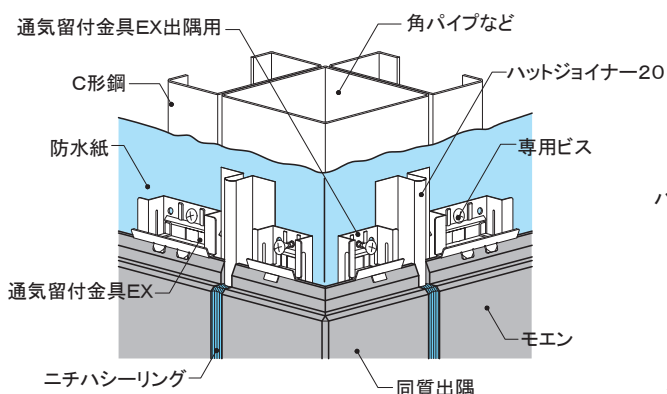
- 入隅部は、金具類の留付下地として必ずC形鋼(追加下地)を入れます。
- 入隅50を取り付け、先行のモエンを施工した後、片ハットジョイナー17を取り付けます。
- 実際に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



9) 出隅部

同質出隅

- 出隅部は、金具類の留付下地としてC形鋼(追加下地)を入れます。
- 同質出隅は必ず通気留付金具EX出隅用で留め付けます。
- 実際に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー20を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

モエン
標準施工法

納まり詳細図
木造

納まり詳細図
鉄骨造

外張り
断熱工法

アウティ

軒天

参考資料

16~21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺

EX S

下地
鉄骨下地

留付方法
通気金具

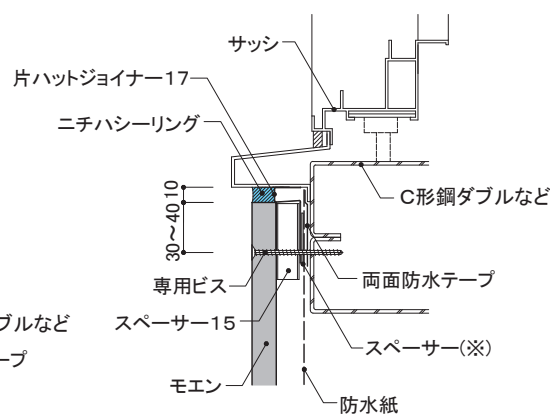
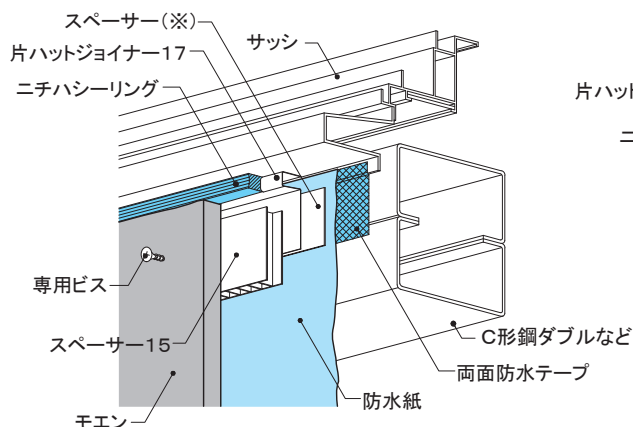
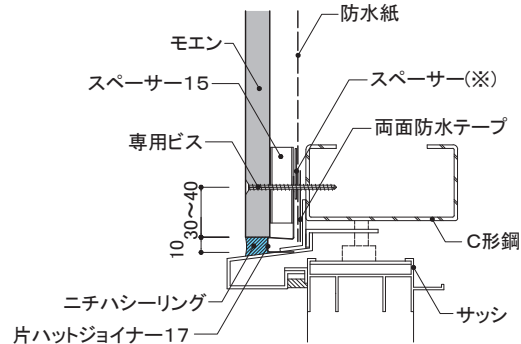
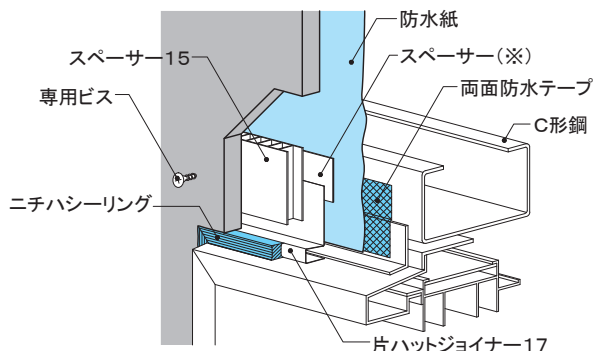
張り方向
横

木胴縁組
なし

10) 開口部

① 上下側

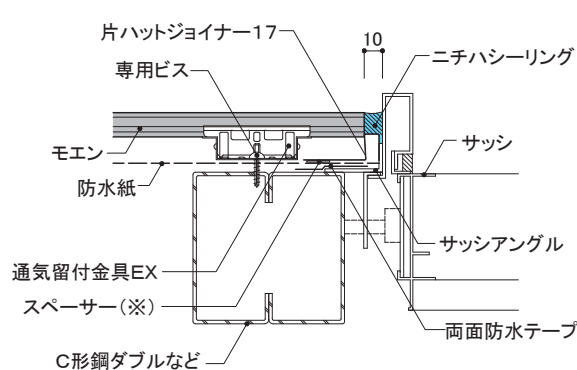
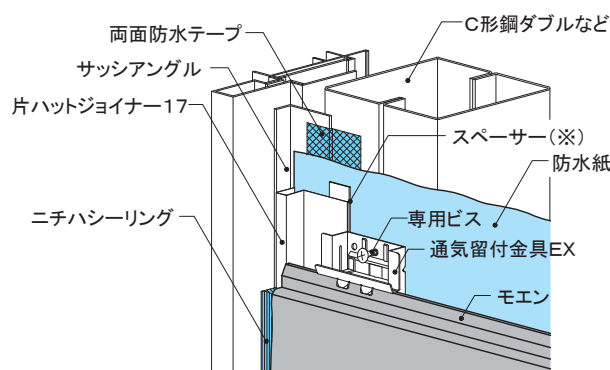
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部上側・下側に片ハットジョイナー17を取り付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



10) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部左右のモエンは、片ハットジョイナー17を取り付け、実に通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



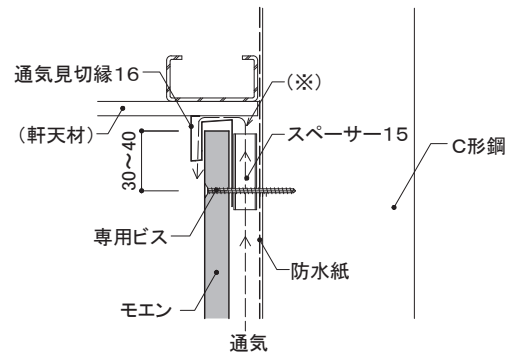
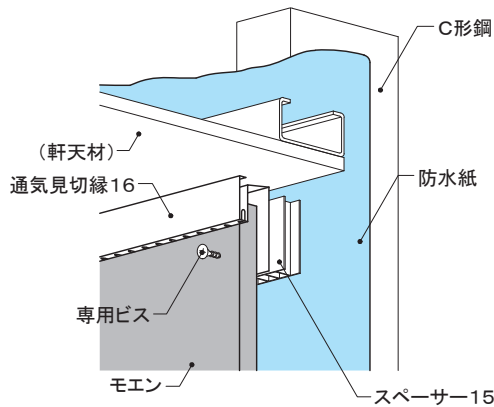
ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16～21mm厚品 (EX) (S)	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	横	なし

11) 軒天部

①通気見切縁

- モエンの施工前にスペーサー15を取り付け、通気見切縁16(18mm厚以上品の場合は、通気見切縁21)を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。

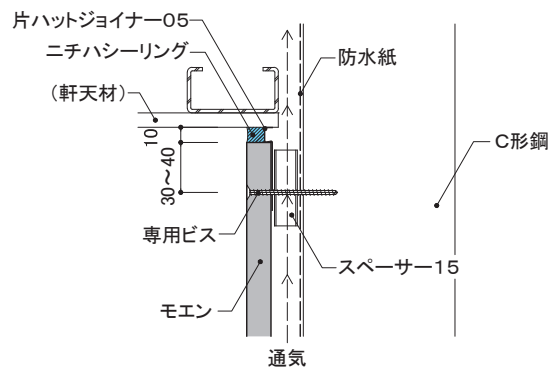
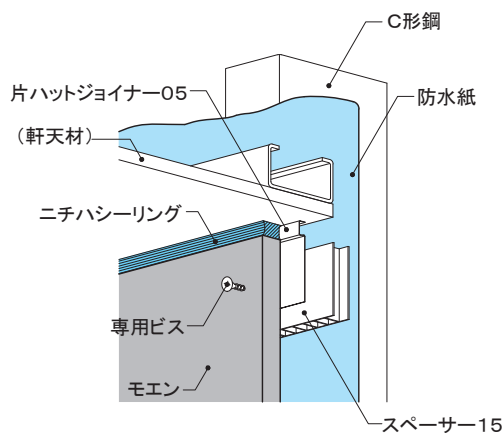


※通気がとれるよう、隙間を設けて施工してください。

11) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りとスペーサー15の取り付けは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、スペーサー15を取り付けた後、片ハットジョイナー05を取り付けます。
- モエンは専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。

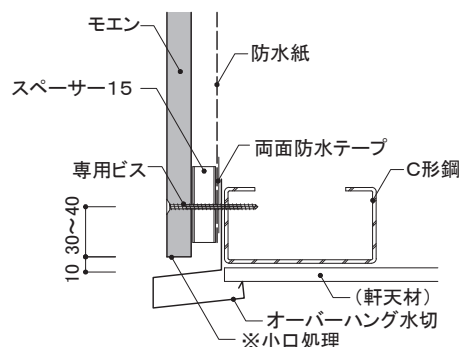
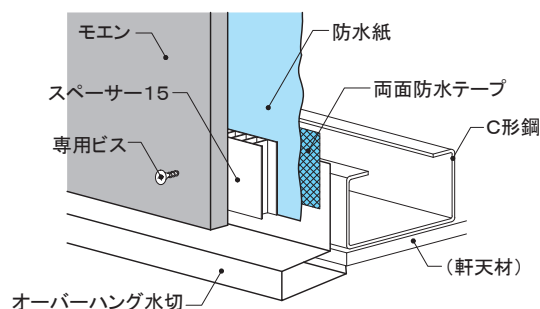


16~21mm厚品 EX S	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺	下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	横	なし

12) オーバーハング部

① オーバーハング水切

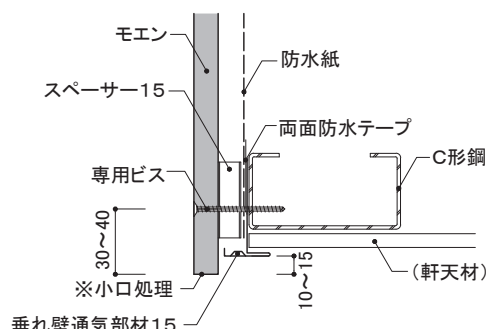
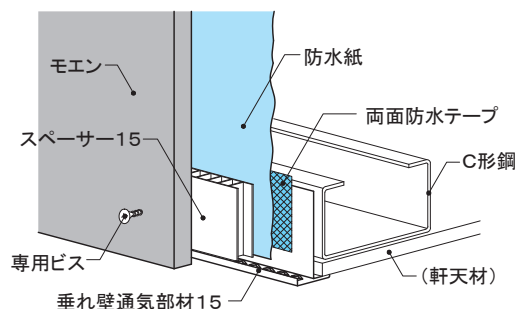
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



12) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

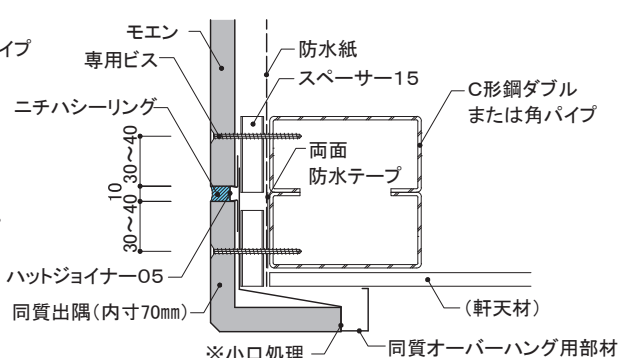
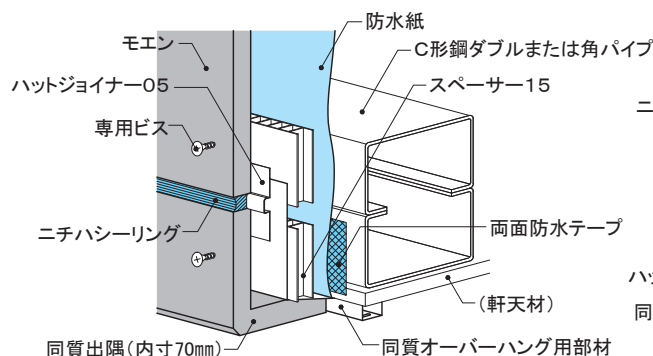
- 垂れ壁仕様にする場合は、必ず垂れ壁通気部材15を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材15の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



12) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部にはハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16～21mm厚品 1.5尺×10尺
1.5尺×6尺
(EX) (S)

下 地
鉄骨下地

留付方法
通気金具

張り方向
横

木胴縁組
なし

モエン
標準施工法

納まり詳細図
木造

納まり詳細図
鉄骨造

外張り
断熱工法

アウティ

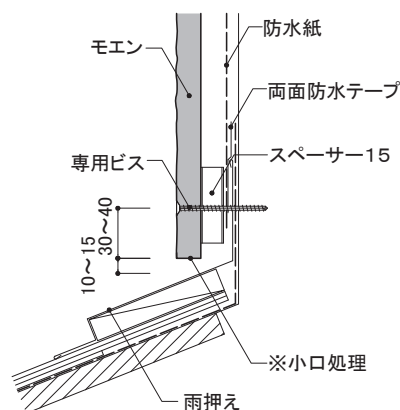
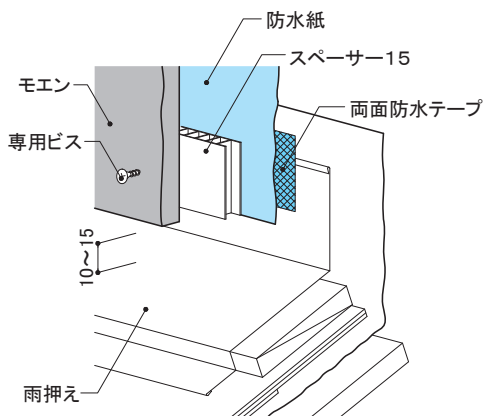
軒天

参考資料

13) 下屋根部

①棟側

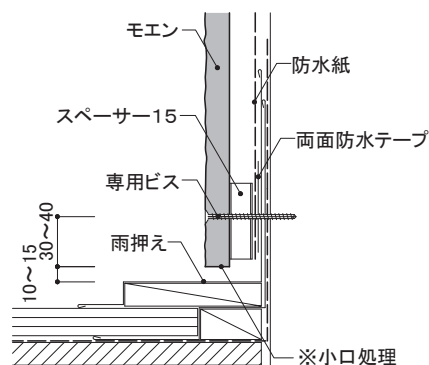
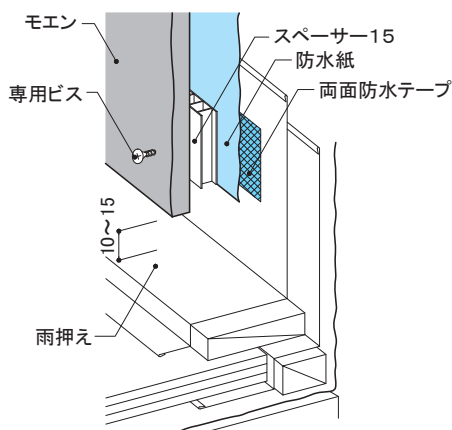
- 防水紙は雨押えの上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



13) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

3-2 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

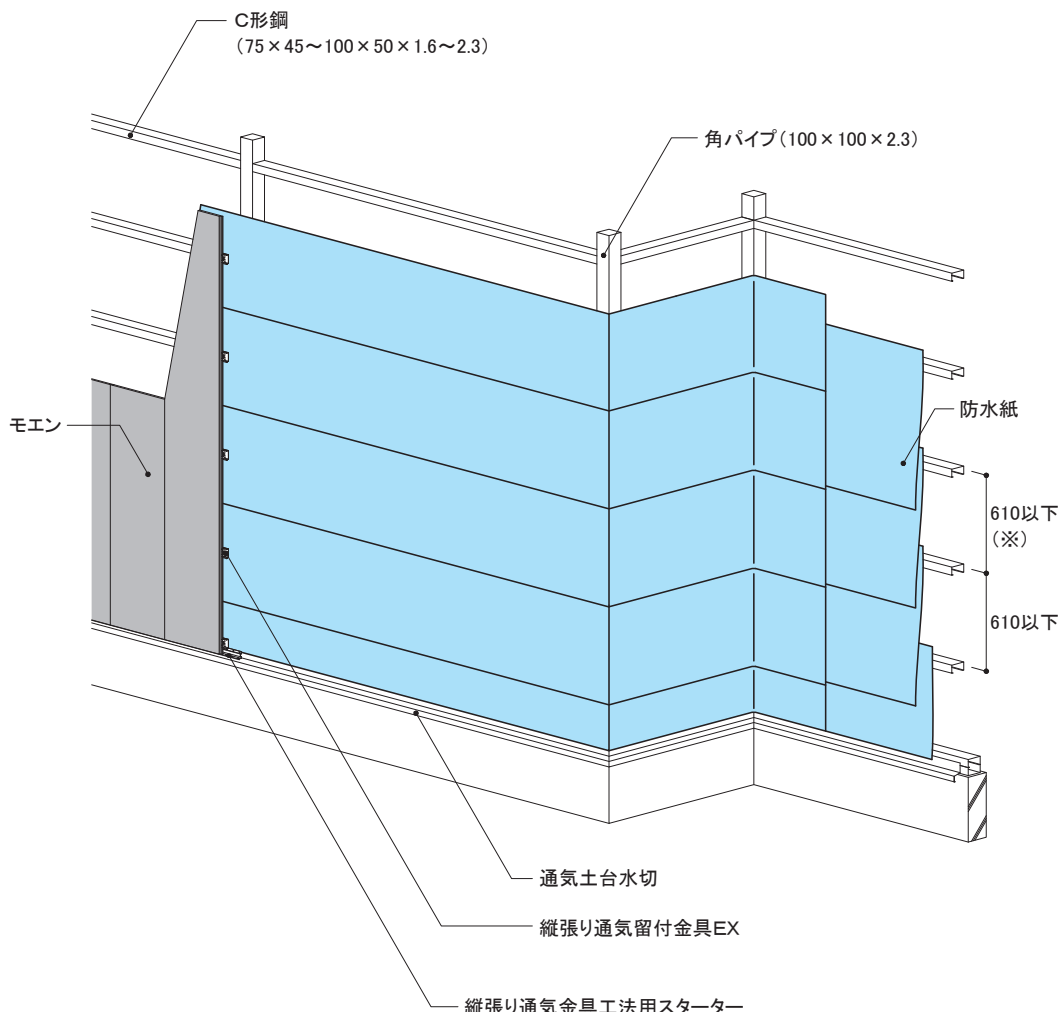
縦張り

通気金具施工

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

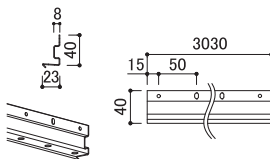
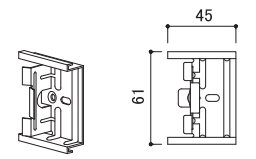
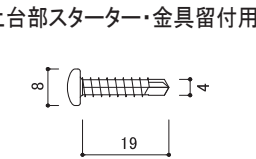
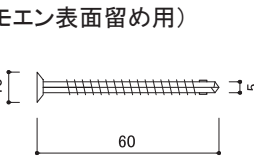
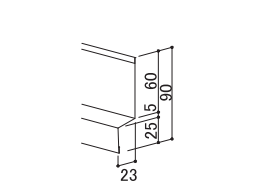
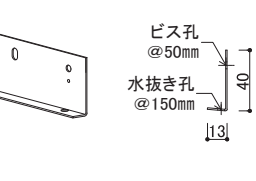
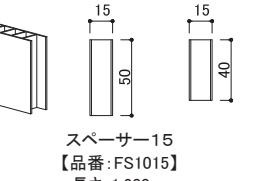
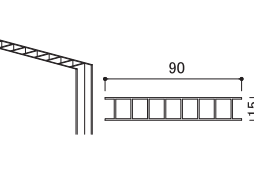
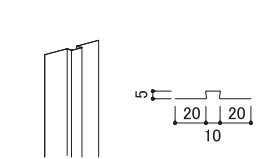
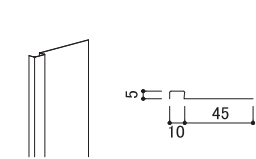
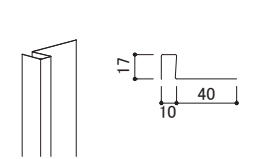
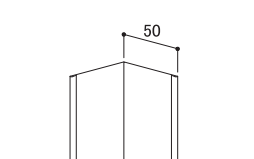
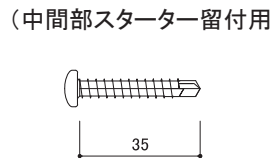
- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
 - C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で横に組みます。(※)
 - C形鋼を柱・梁などに直接溶接することは避けます。受けアングル(ねこ)を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めとします。
 - C形鋼は下向きに使用します。
 - 縦張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、250mm以下の間隔で留め付けます。
 - 土台部、出隅部、入隅部、上下接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、金具が留め付けられるようにします。
 - モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分に専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。
- ※1時間準耐火構造(QF060BE-9225)が必要な場合は@606mm以下となります。また、準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	縦	なし

2) 主要部材一覧表

■スターター(土台部)  縦張り通気金具工法用スターター 【品番:FA750T】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:250mm以下	■一般部金具  縦張り用通気留付金具EX (16mm厚品用通気金具) 【品番:JE715】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで長孔に留め付ける	■専用ビス (土台部スターター・金具留付用)  ステンレステクスネジ 【品番:JK1140】 材質:ステンレス サイズ:φ4mm×19mm	■専用ビス (モエン表面留め用)  ステンレスリーマテクスネジ 【品番:JK1250】 材質:ステンレス サイズ:φ5mm×60mm
■水切(中間部)  中間水切23E 【品番:FTA****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm	■スターター(中間部)  縦張り金具工法用スターター 【品番:FA350T】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:250mm以下	■スペーサー  スペーサー15 【品番:FS1015】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー15(ピースタイプ) 【品番:FSP1015】 サイズ:40×40×15mm 材質:ポリプロピレン	■スペーサー  スペーサー15T 【品番:FS1015T】 材質:ポリプロピレン 長さ:2,000mm
■ハットジョイナー  ハットジョイナー05 【品番:FH1005R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー05 【品番:FHK1105R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色	■片ハットジョイナー  片ハットジョイナー17 【品番:FHK1117R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色	■入隅50  入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm
■専用ビス (中間部スターター留付用)  通気金具留付ドリルネジ 【品番:JK1440】 材質:ステンレス サイズ:φ4mm×35mm			

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

モエン
標準施工法

納まり詳細図
木造

納まり詳細図
鉄骨造

外張り
断熱工法

アウティ

軒天

参考資料

16mm厚品

1.5尺×10尺

下地

留付方法

張り方向

木胴縁組

EX

鉄骨下地

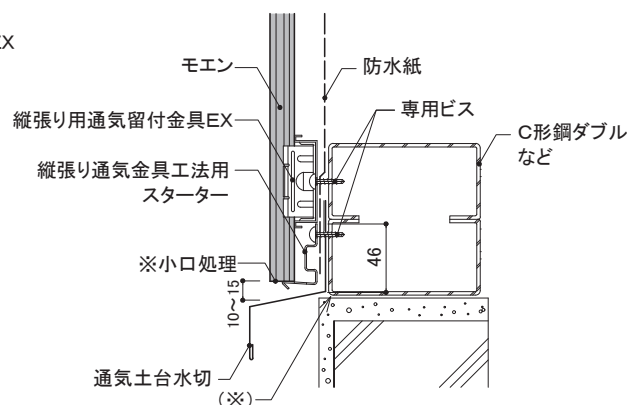
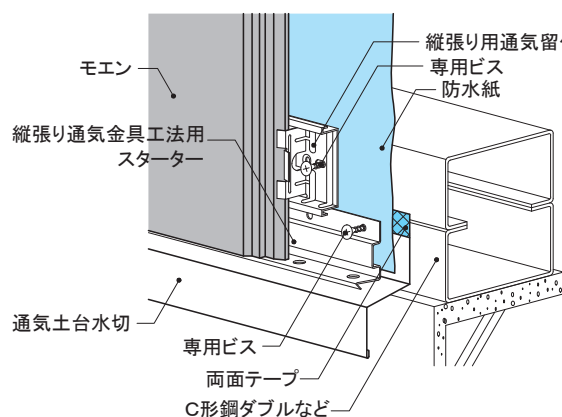
通気金具

縦

なし

3) 土台部

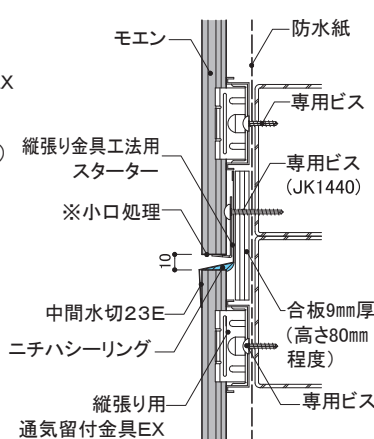
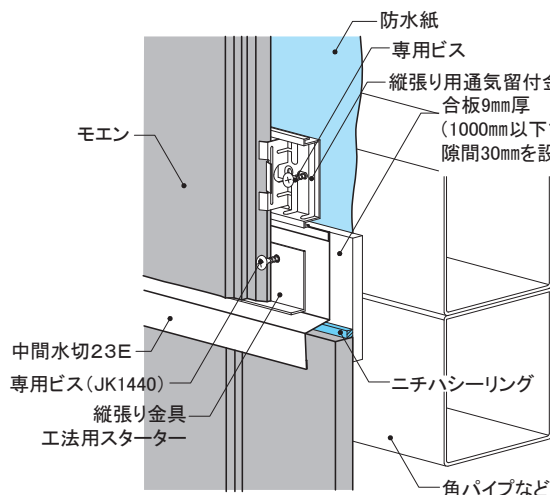
- 通気土台水切は、C形鋼に610mm以下の間隔でビスを用いて水平に取り付けます。
- 縦張り通気金具工法用スターターは専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)を用いて250mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り用通気留付金具EXは、縦張り通気金具工法用スターターのすぐ上の位置で確実にモエンの実に差し込み、必ずC形鋼や角パイプに専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。
- アルミ通気土台水切の場合、アルミ通気土台水切腰部と縦張り通気金具工法用スターターの間に3mm程度の隙間を設けます。また、モエン下端とアルミ通気土台水切の隙間は20mm程度となります。



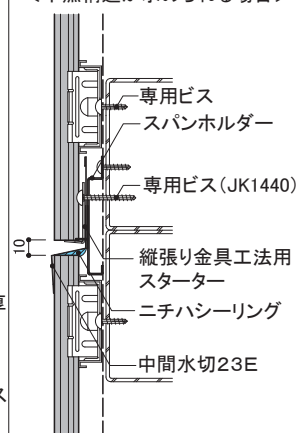
※ 吹き上げなどによる雨水浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

4) 上下接合部

- 合板9mm厚を下地に1000mm以下で30mmの隙間を設けて留め付けます。
- 下段のモエンを施工後、中間水切23Eを合板の上に留め付け、縦張り金具工法用スターターを専用ビス(JK1440: φ4mm×35mm)を用いて250mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り用通気留付金具EXは、縦張り金具工法用スターターのすぐ上の位置で確実にモエンの実に差し込み、必ずC形鋼や角パイプに専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。



<不燃構造が求められる場合>



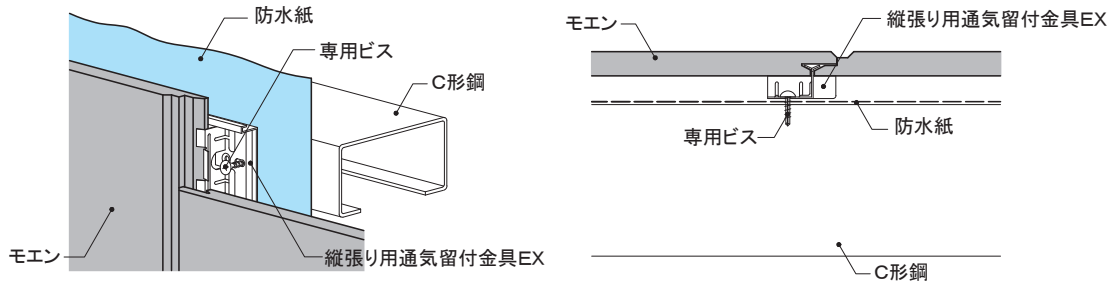
- スパンホルダーの両端をC形鋼へ留め付けます。
- スパンホルダー両端のツメは、必要に応じて切り落とすか折り曲げます。
- スパンホルダーに先孔をあけ、縦張り金具工法用スターターは250mm以下の間隔で留め付けます。

小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	縦	なし

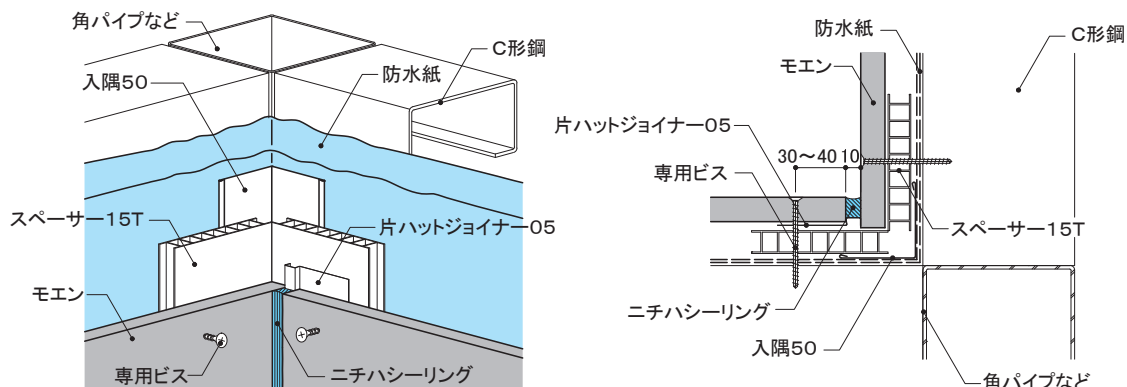
5) 左右接合部

- 実に縦張り用通気留付金具EXを納め、専用ビス(ステンレスビスφ4mm×19mm)で留め付けます。



6) 入隅部

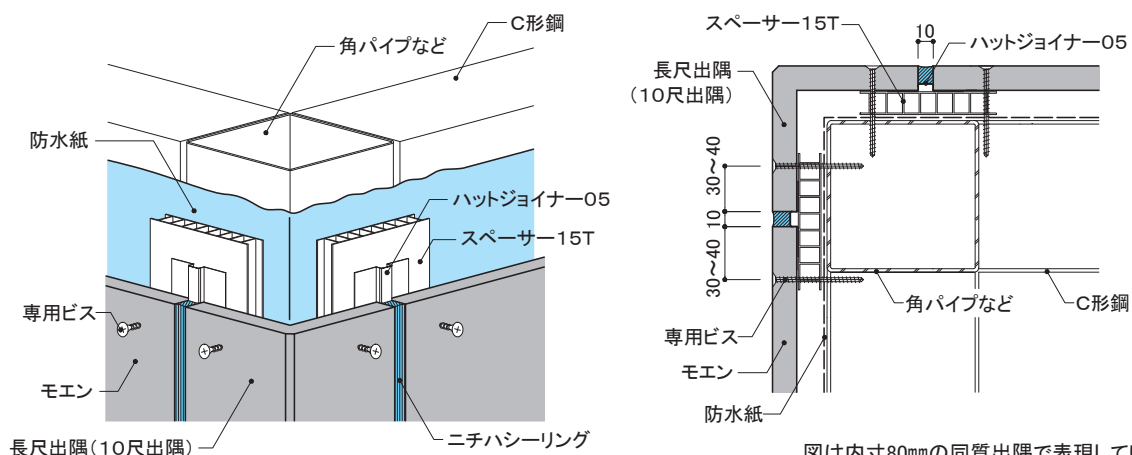
- 入隅50・スペーサー15Tを取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー05を取り付けます。
- モエンはスペーサー15Tを取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



7) 出隅部

同質出隅

- モエン本体、長尺出隅(10尺出隅)はスペーサー15Tを取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- 長尺出隅(10尺出隅)との取り合い部にはハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

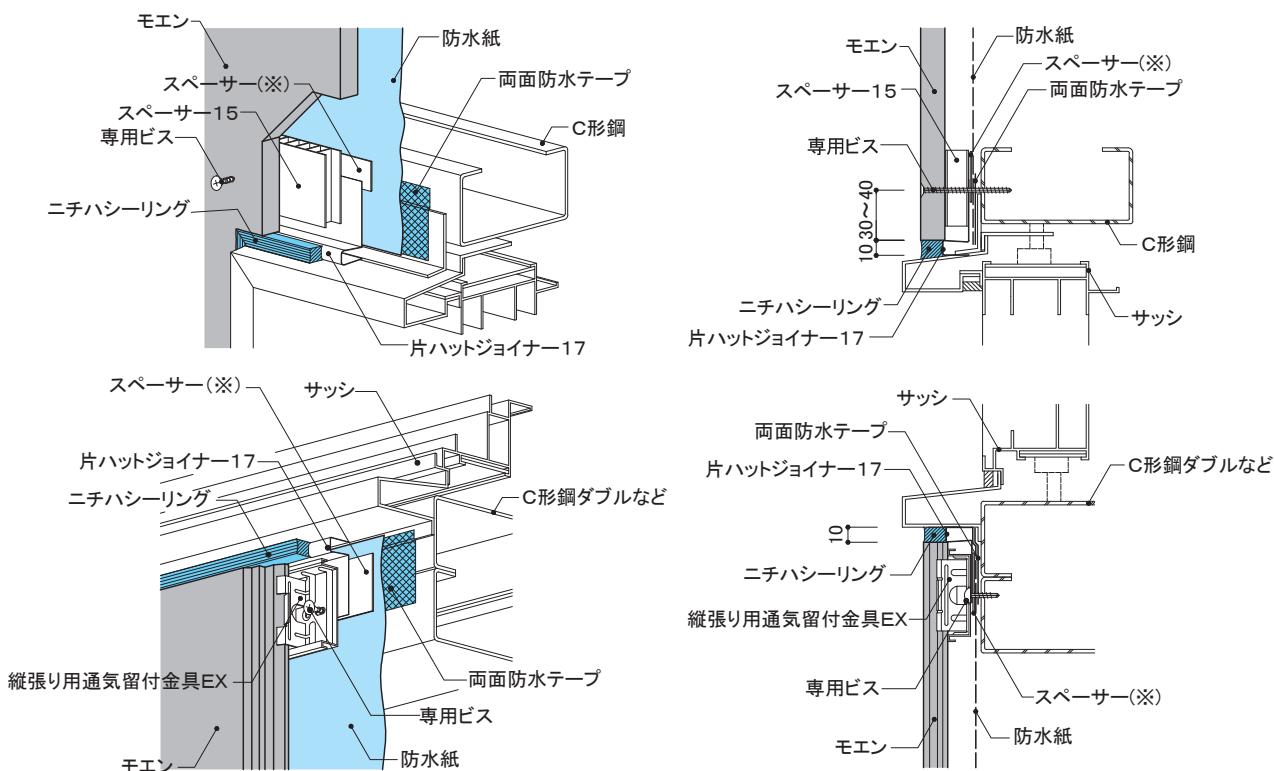
ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	縦	なし

8) 開口部

① 上下側

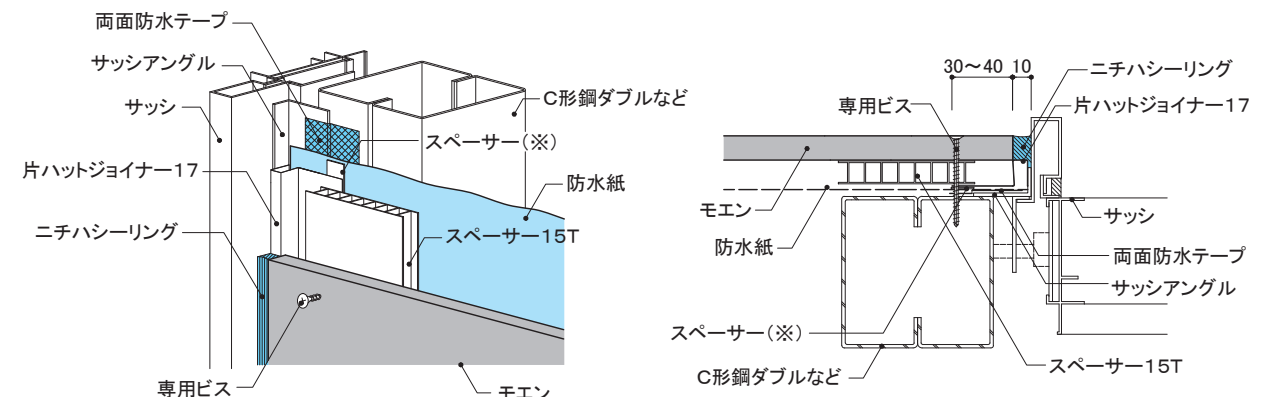
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部上側は片ハットジョイナー17を取り付け、スペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- 開口部下側は片ハットジョイナー17を取り付け、実に縦張り用通気留付金具EXを確実に納めて専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部左右のモエンは、片ハットジョイナー17を取り付け、スペーサー15Tを取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
(※) サッシフィンの厚みで片ハットジョイナーが転ぶ場合、必要に応じてスペーサー等を入れて施工します。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



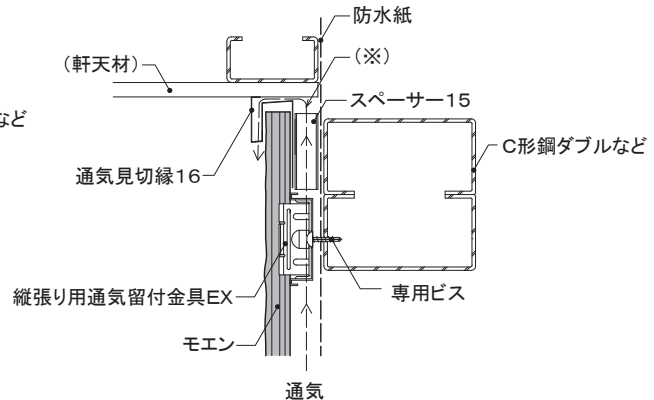
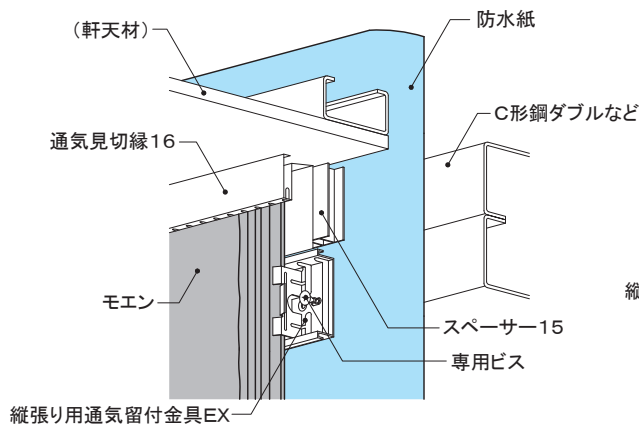
ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	縦	なし

9) 軒天部

①通気見切縁

- モエンの施工前にスペーサー15を取り付け、通気見切縁16を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、実に縦張り用通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。

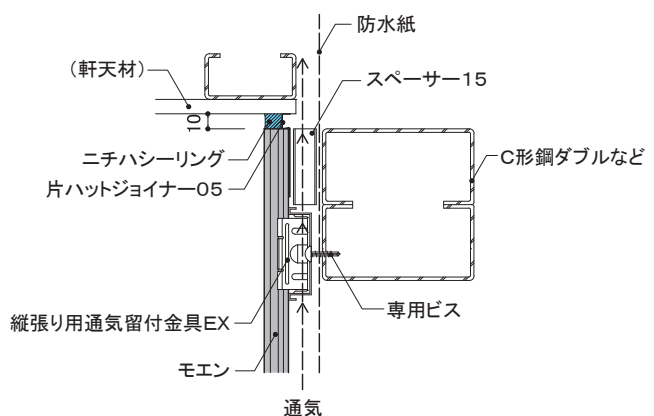
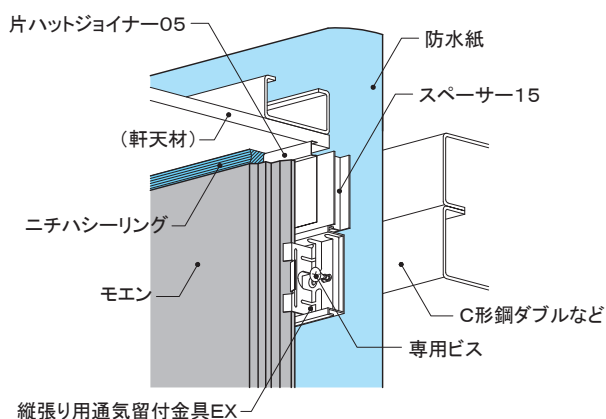


※通気がとれるよう、隙間を設けて施工してください。

9) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りとスペーサー15は軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー05を取り付けます。
- 実に縦張り用通気留付金具EXを確実に納め、専用ビス(ステンレステクスネジφ4mm×19mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



16mm厚品

1.5尺×10尺

下 地

留付方法

張り方向

木胴縁組

EX

鉄骨下地

通気金具

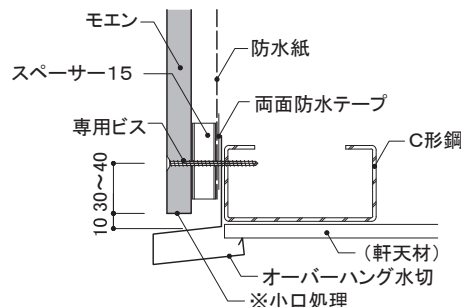
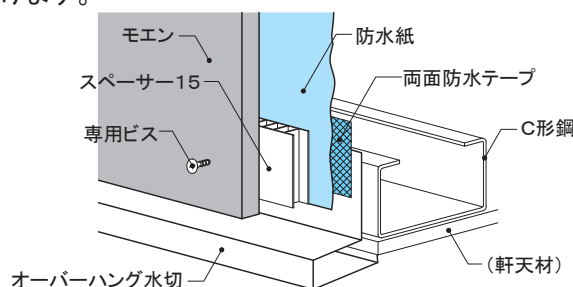
縦

なし

10) オーバーハング部

① オーバーハング水切

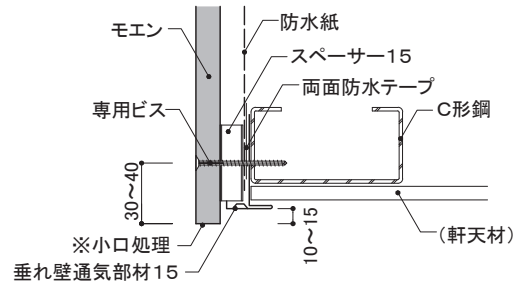
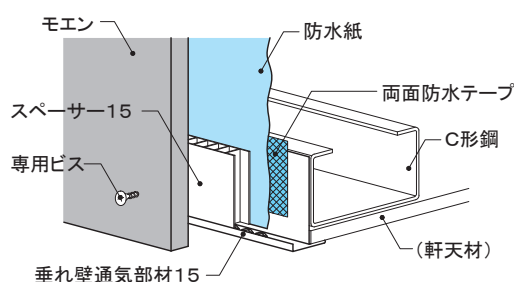
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

② 垂れ壁通気部材

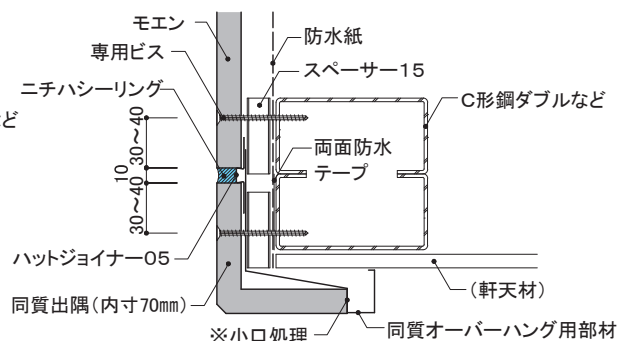
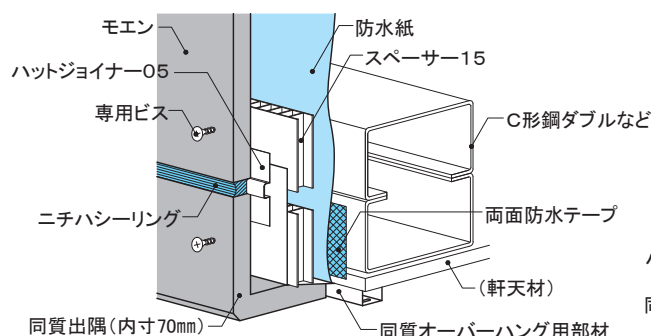
- 垂れ壁仕様にする場合は、必ず垂れ壁通気部材15を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材15の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

③ 同質出隅

- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー05を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

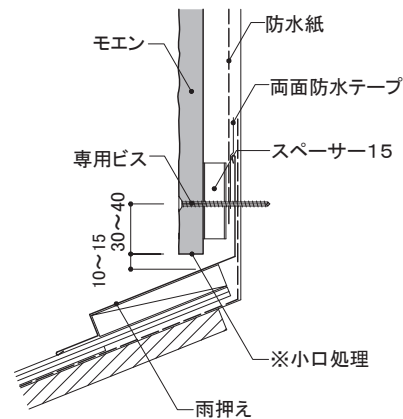
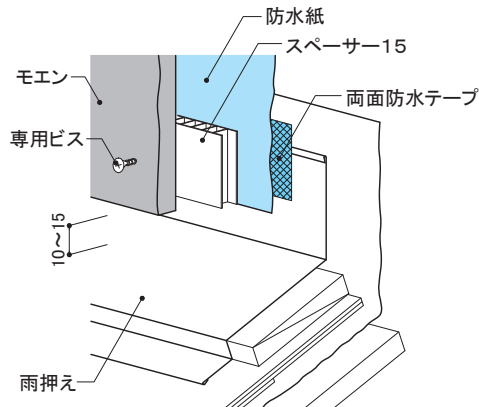
ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

16mm厚品 (EX)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨下地	通気金具	縦	なし

11) 下屋根部

①棟側

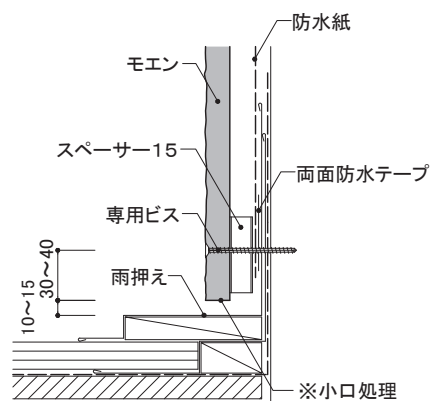
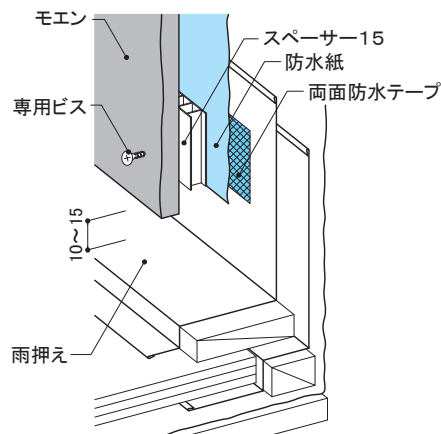
- 防水紙は雨押えの上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



11) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはスペーサー15を取り付けた後、専用ビス(ステンレスリーマテクスネジφ5mm×60mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

ビス頭 補修用パテを埋め、硬化後、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

3-3 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

横張り

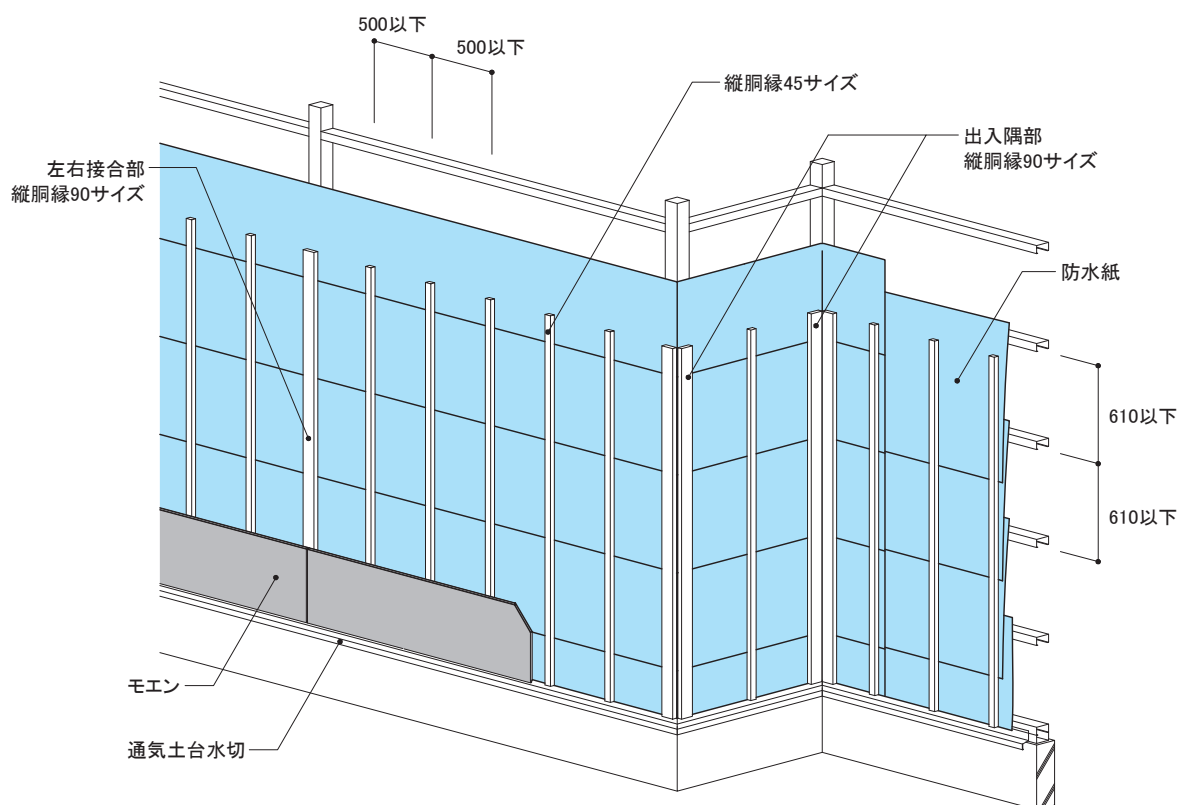
釘打ち施工
(木胴縁下地)

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で横に組みます。
- C形鋼と直交させるように500mm以下の間隔で厚み33mm以上の木胴縁を入れ、ビスでC形鋼に留め付けます。(胴縁留付ビス:ステンレススネジφ5mm以上×60mm以上)
- 縦胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- C形鋼の下地組みにビスでモエンを直張りする施工は、絶対に行わないでください。
- 出隅部、入隅部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、木胴縁が留め付けられるようにします。

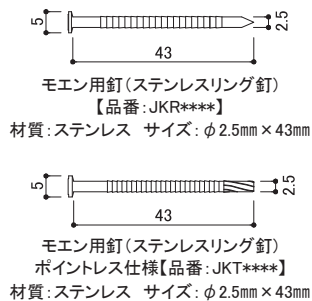
※準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。



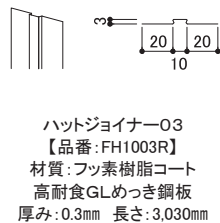
14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		鉄骨造木下地	釘	横	

2) 主要部材一覧表

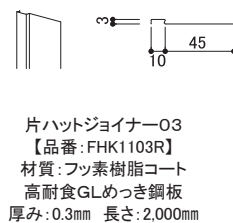
■専用釘(モエン留付用)



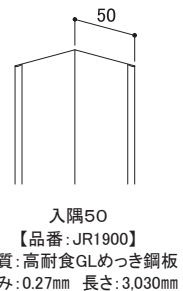
■ハットジョイナー



■片ハットジョイナー

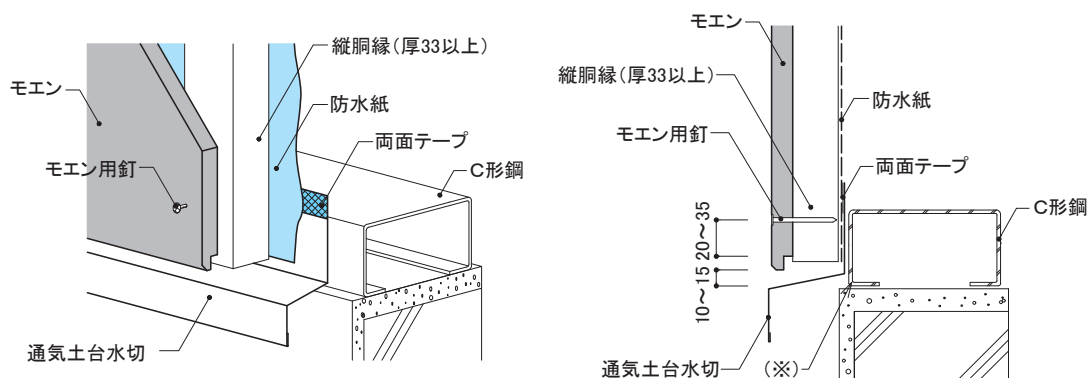


■入隅50



3) 土台部

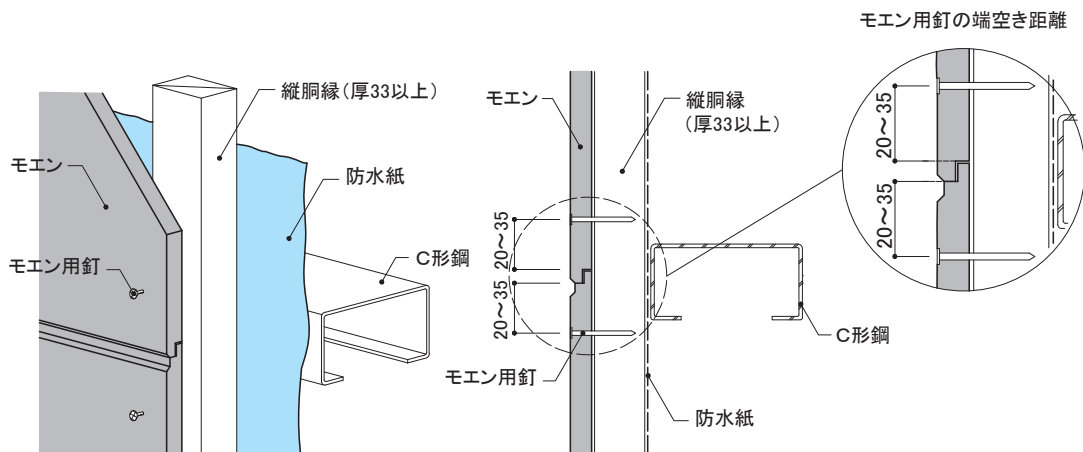
- 通気土台水切は、C形鋼にビスを用いて610mm以下の間隔で水平に取り付けます。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



※ 吹き上げなどによる雨水浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

4) 上下接合部

- 実の乗り上げに注意して施工します。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

モエン
標準施工法

納まり詳細図
木造

納まり詳細図
鉄骨造

外張り
断熱工法

アウティ

軒天

参考資料

14mm厚品

1.5尺×10尺

(M) (W)

下地
鉄骨造木下地

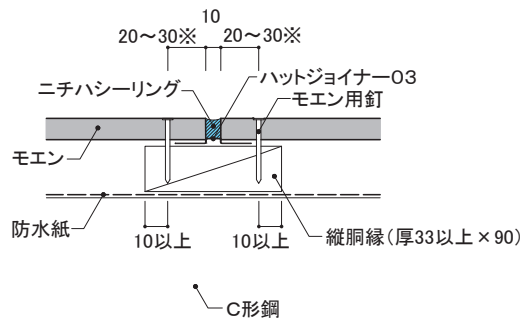
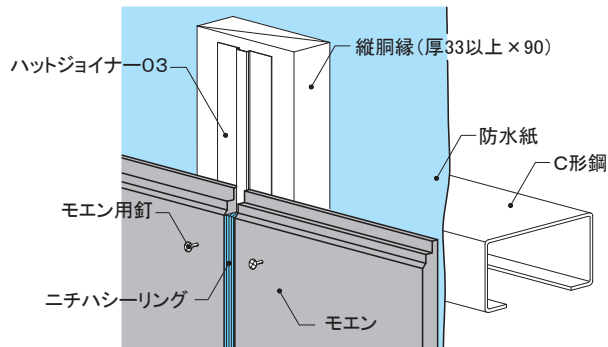
留付方法
釘

張り方向
横

木胴縁組
縦胴縁
@500mm以下

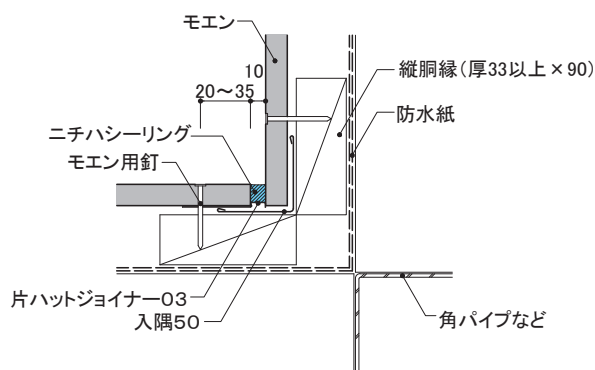
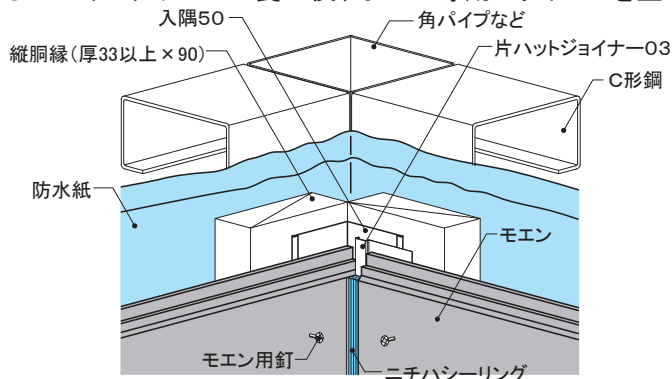
5) 左右接合部

- 左右接合部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



6) 入隅部

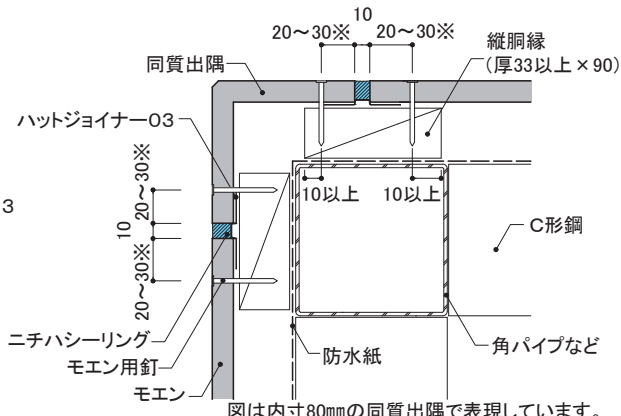
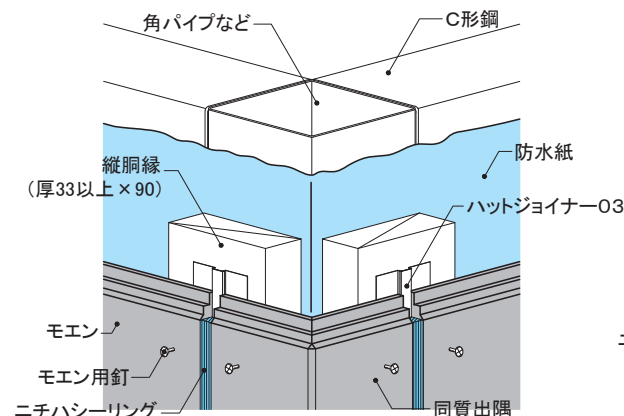
- 入隅50を取り付けた後、先行のモエンを施工し、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



7) 出隅部

同質出隅

- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエン本体、同質出隅はモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品

1.5尺×10尺

下 地

留付方法

張り方向

木胴縁組

M

W

鉄骨造木下地

釘

横

縦胴縁組
@500mm以下モエン
標準施工法納まり詳細図
木造鉄骨造
納まり詳細図外張り
断熱工法

アウティ

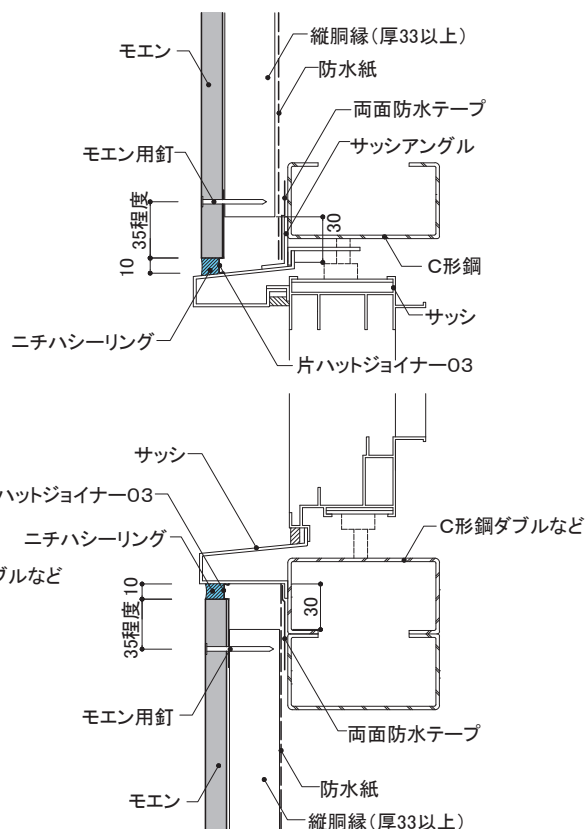
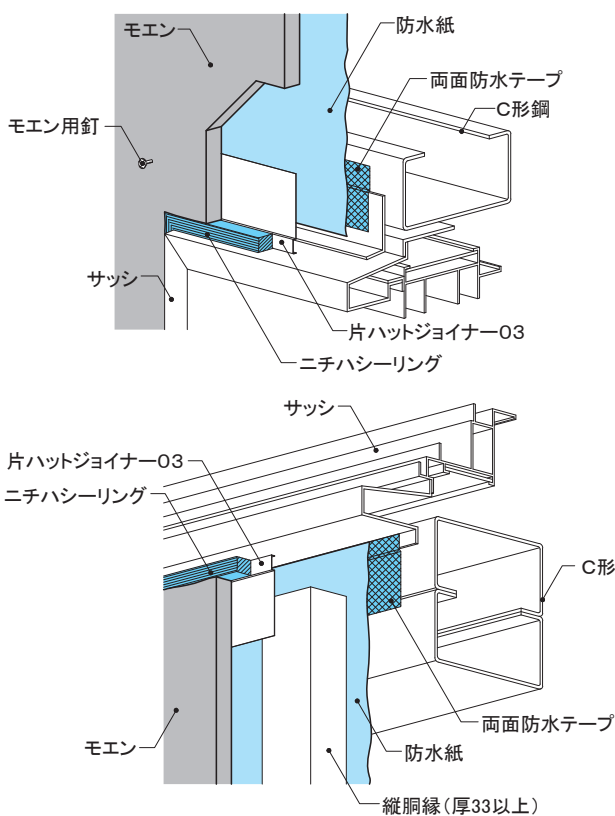
軒天

参考資料

8) 開口部

① 上下側

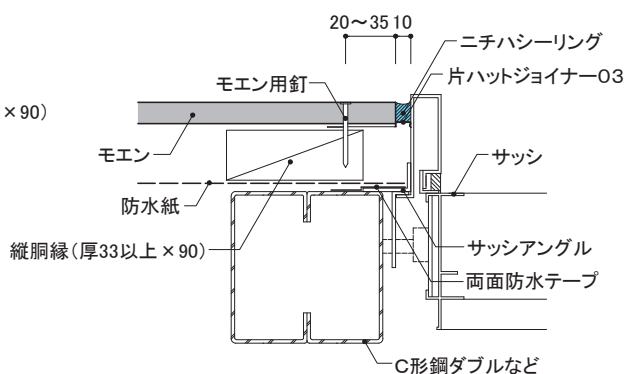
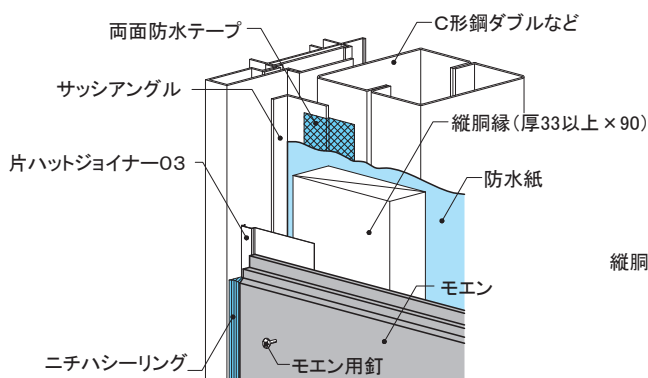
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



釘頭

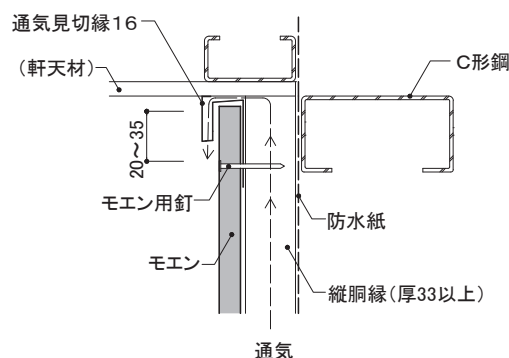
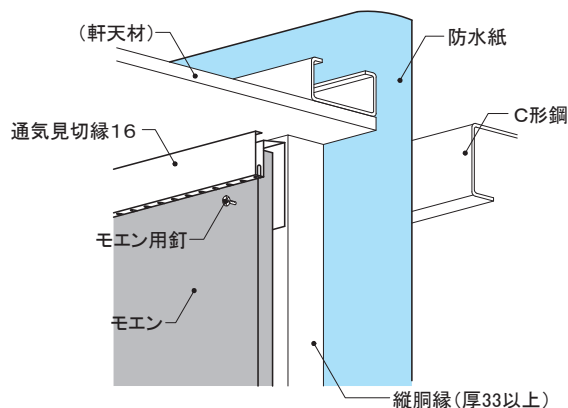
釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨造木下地	釘	横	縦胴縁 @500mm以下

9) 軒天部

① 通気見切縁

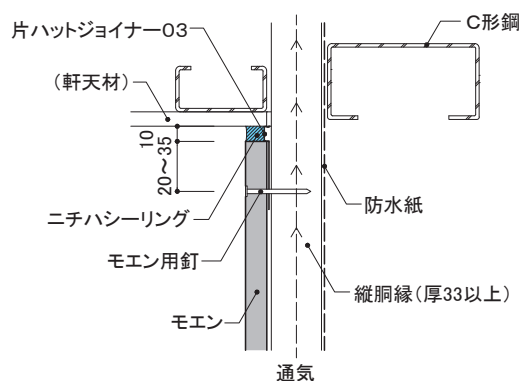
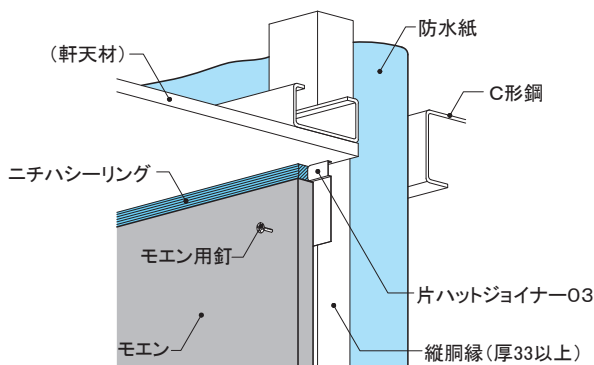
- モエンの施工前に通気見切縁16を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



9) 軒天部

② シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張り胴縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



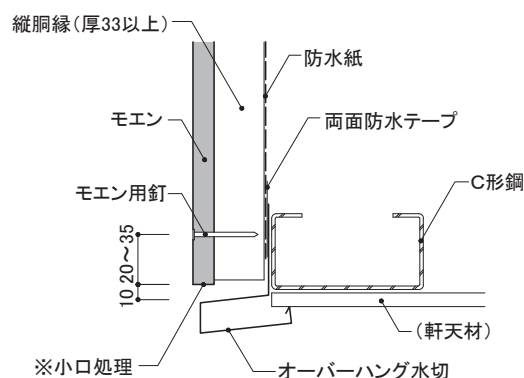
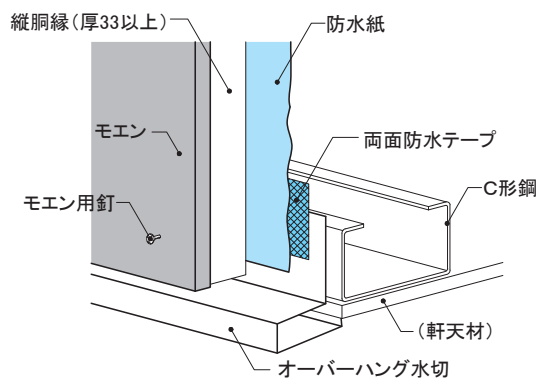
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 縦胴縁 @500mm以下
		鉄骨造木下地	釘	横	

10) オーバーハング部

① オーバーハング水切

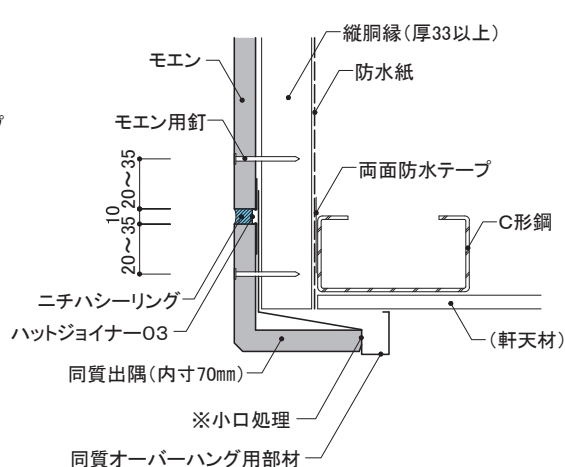
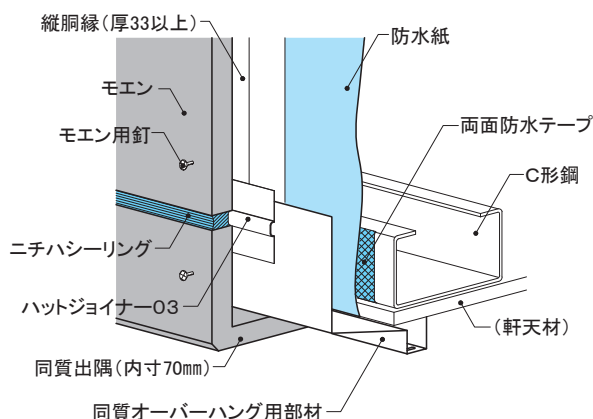
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせ、両面防水テープで貼り付けます。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

② 同質出隅

- 防水紙を両面防水テープで貼り付けます。
- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
- モエン本体、同質出隅はモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

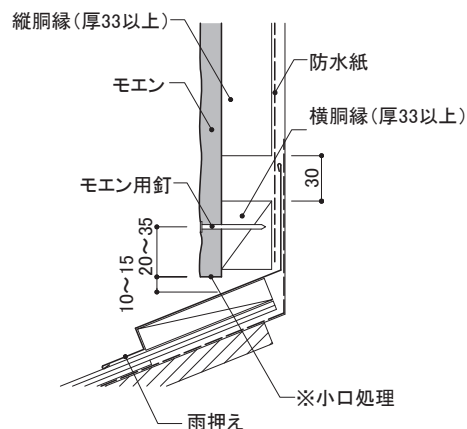
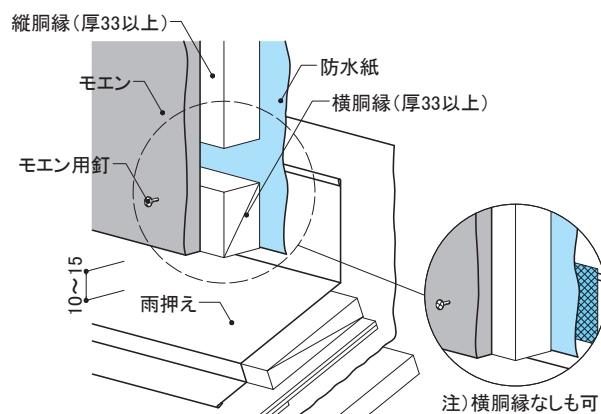
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		鉄骨造木下地	釘	横	縦胴縁 @500mm以下

11) 下屋根部

①棟側

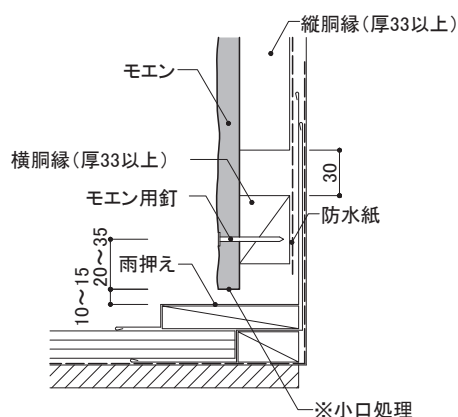
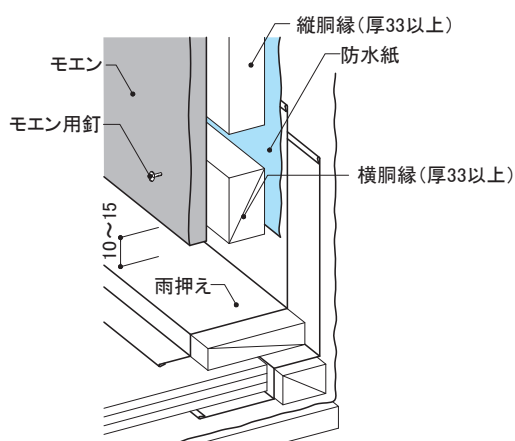
- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- 注) 横胴縁なしの場合は雨押さえと防水紙を両面防水テープで密着させます。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



11) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

3-4 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

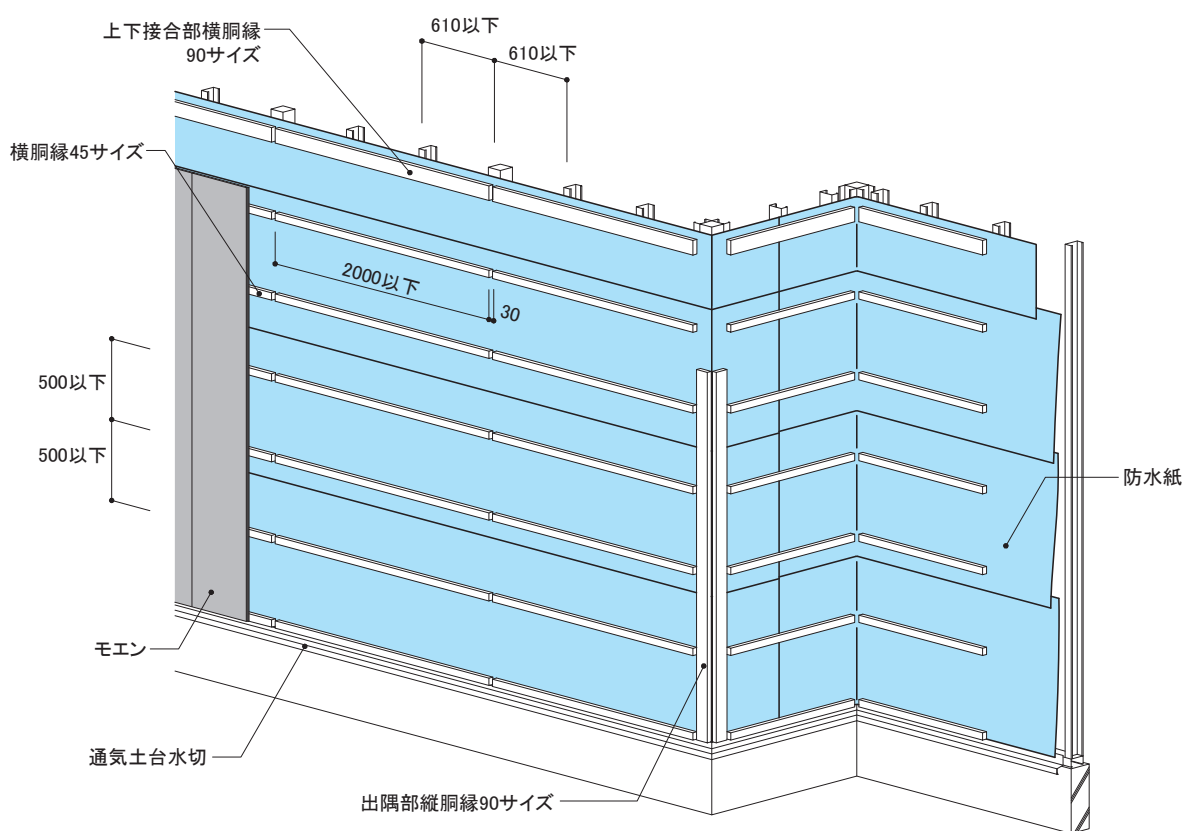
縦張り

釘打ち施工
(木胴縁下地)

1) 基本構成図・下地組図

1. 5尺×10尺、3尺×10尺

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
 - C形鋼は75×45～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを610mm以下の間隔で縦に組みます。
 - C形鋼と直交させるように500mm以下の間隔で厚み33mm以上の木胴縁を入れ、ビスでC形鋼に留め付けます。(胴縁留付ビス:ステンレススネジφ5mm以上×60mm以上)
 - 下地組みは、必ず通気ができるように2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
 - 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
 - 出隅部、入隅部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、木胴縁が留め付けられるようにします。
 - C形鋼の下地組みにビスでモエンを直張りする施工は、絶対に行わないでください。
 - モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口が見える部分に専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布します。
- ※準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは、2.3mmとします。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品

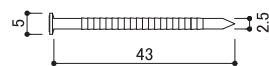
(M) (W)

1.5尺×10尺
3尺×10尺下 地
鉄骨造木下地留付方法
釘張り方向
縦木胴縁組
横胴縁
@500mm以下

2) 主要部材一覧表

※各部材は、2025年9月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA
内外装建材総合カタログでご確認ください。

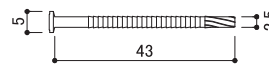
■専用釘(モエン留付用)



モエン用釘(ステンレスリング釘)

【品番:JKR****】

材質:ステンレス サイズ:φ2.5mm×43mm



モエン用釘(ステンレスリング釘)

ポイントレス仕様【品番:JKT****】

材質:ステンレス サイズ:φ2.5mm×43mm

■ハットジョイナー



ハットジョイナー03

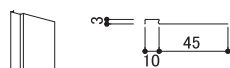
【品番:FH1003R】

材質:フッ素樹脂コート

高耐食GLめっき鋼板

厚み:0.3mm 長さ:3,030mm

■片ハットジョイナー



片ハットジョイナー03

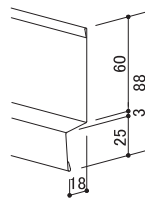
【品番:FHK1103R】

材質:フッ素樹脂コート

高耐食GLめっき鋼板

厚み:0.3mm 長さ:2,000mm

■水切(中間部)



中間水切18

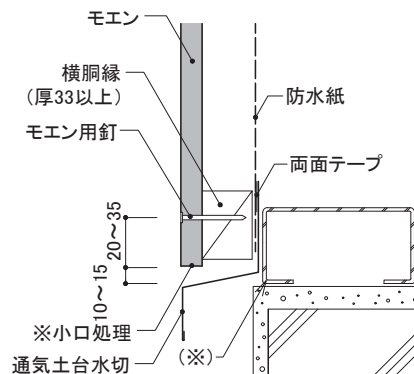
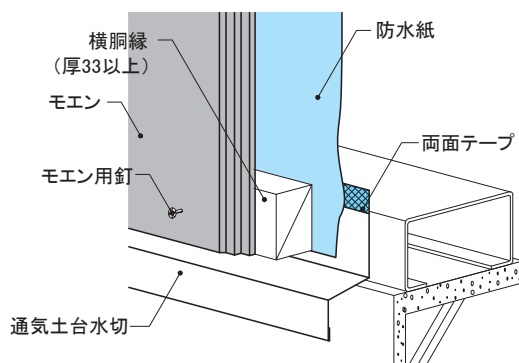
【品番:FTB****】

材質:高耐食GLめっき鋼板

厚み:0.35mm 長さ:3,030mm

3) 土台部

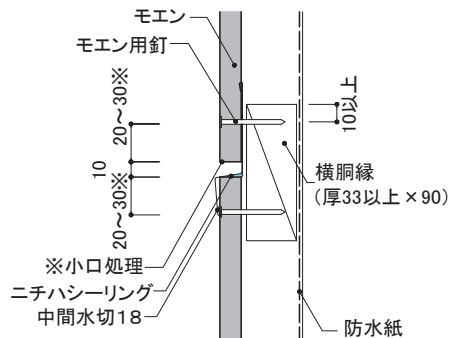
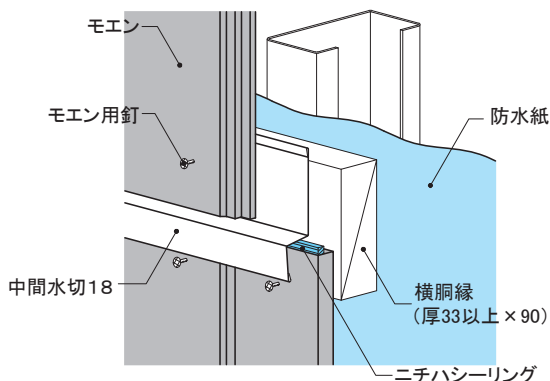
- 通気土台水切は、C形鋼に610mm以下の間隔でビスを用いて水平に取り付けます。
- モエン下端と通気土台水切の間は、10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



※ 吹き上げなどによる雨水浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

4) 上下接合部

- 中間水切18は、横胴縁に500mm以下の間隔でモエン用釘などを用いて水平に留め付けます。
 - モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※横胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。



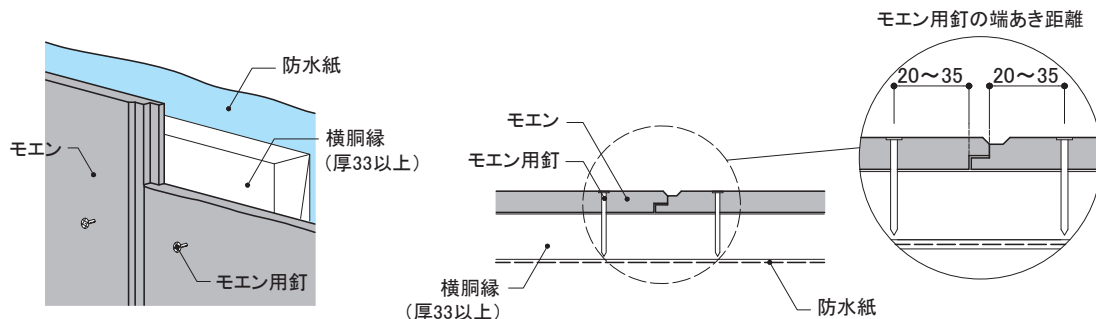
小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		鉄骨造木下地	釘	縦	

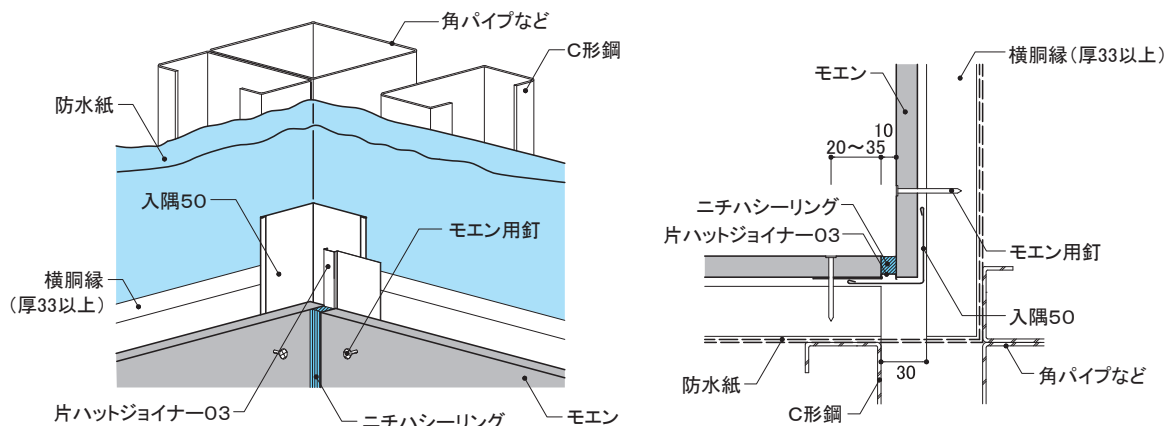
5) 左右接合部

- 実を確実に納め、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



6) 入隅部

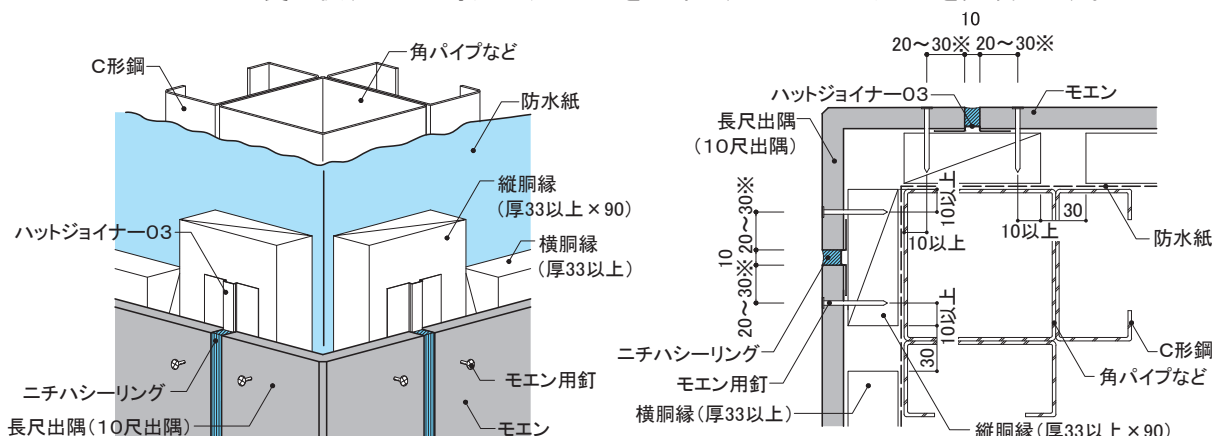
- 入隅部は、胴縁の留付下地として必ずC形鋼(追加下地)を入れます。
- 入隅50を取り付けた後、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



7) 出隅部

同質出隅

- 長尺出隅(10尺出隅)との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエン本体、長尺出隅(10尺出隅)はモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



図は内寸80mmの同質出隅で表現しています。

釘頭

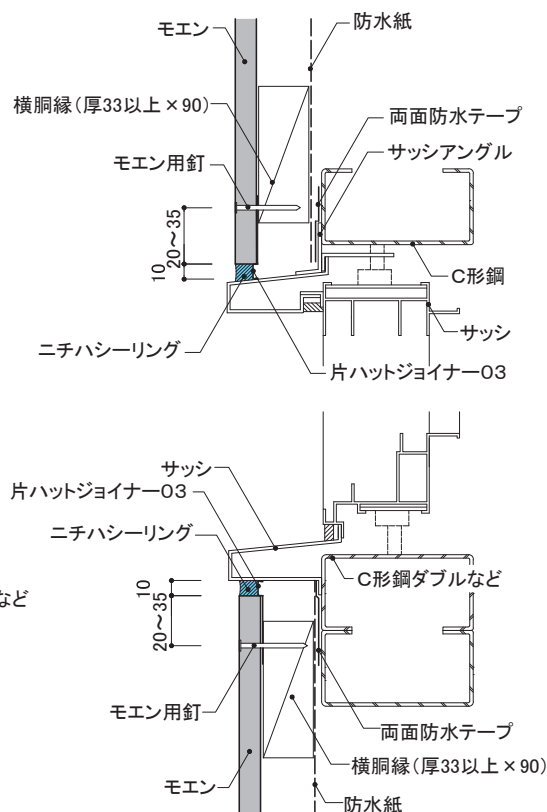
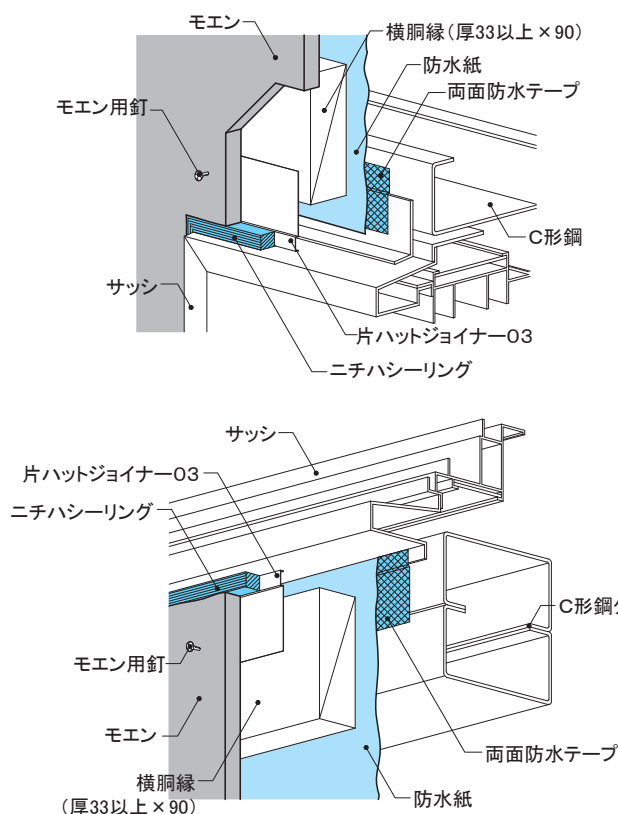
釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		鉄骨造木下地	釘	縦	

8) 開口部

① 上下側

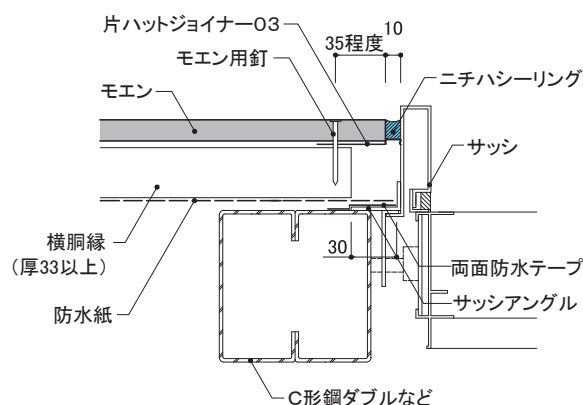
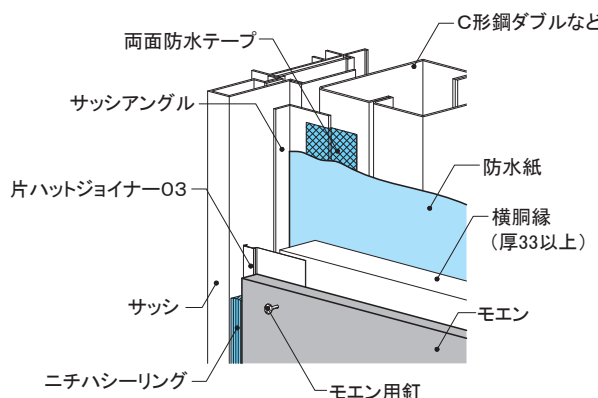
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 左右側

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



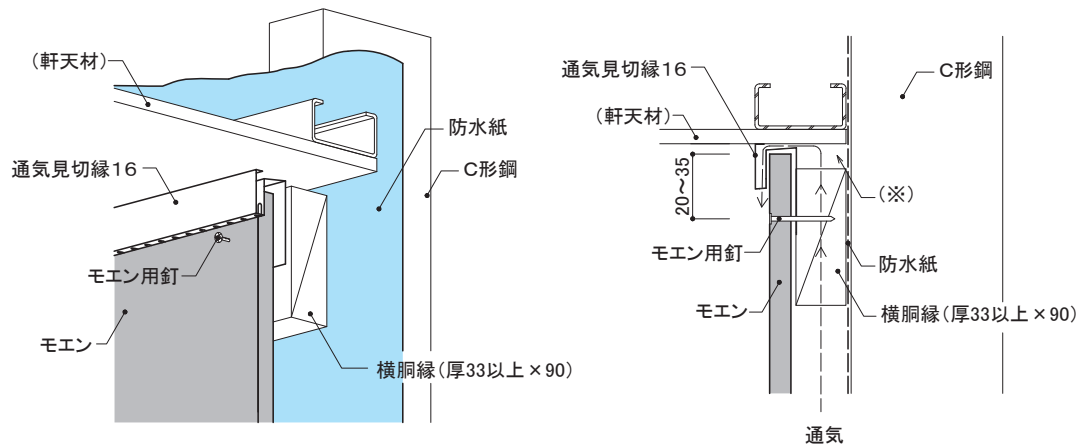
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		鉄骨造木下地	釘	縦	

9) 軒天部

①通気見切縁

- モエンの施工前に通気見切縁16を図の位置に取り付けます。
- モエンは通気見切縁16に差し込み、モエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。

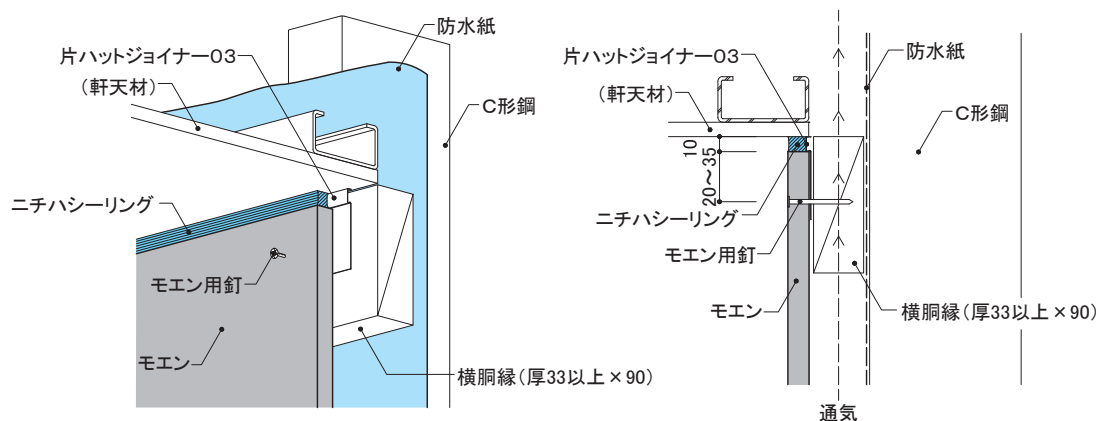


※通気がとれるよう、隙間を設けて施工してください。

9) 軒天部

②シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りと胴縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー03を取り付けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



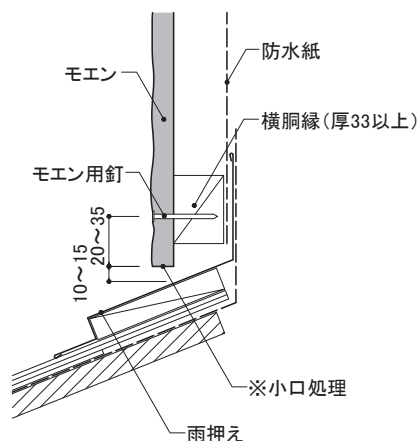
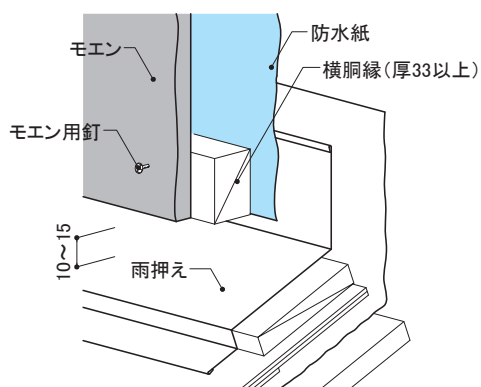
釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。

14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		鉄骨造木下地	釘	縦	

11) 下屋根部

①棟側

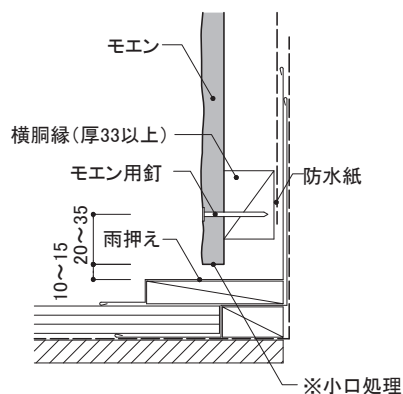
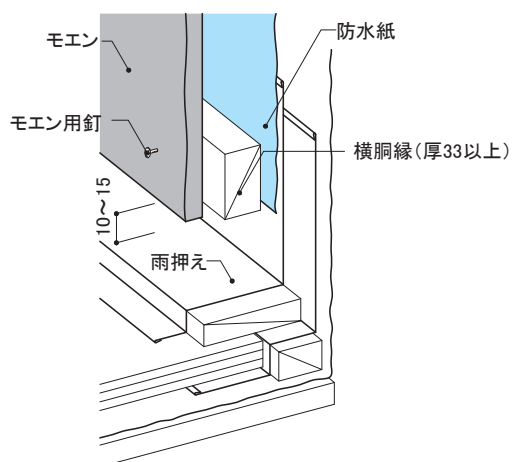
- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



11) 下屋根部

②流れ側

- 防水紙は雨押えの上にかぶせて施工します。
- モエン下端に10～15mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。